キュリオム
Qriom

AM/FMラジオレコーダー
YVR-R301
取扱説明書（保証書付）

やりたいことがわかる 逆引き目次 ▶ 2ページへ

◆ AM/FMラジオ搭載
◆ 20件のラジオ予約録音ができます（※ボイスレコーダーは5件）
◆ 数字ボタンで操作簡単
◆ ボイスの予約録音もできます(5件)（無人で自動録音）
◆ マイクロSDスロット搭載（マイクロSDHC16GBまで対応）
◆ USB端子搭載
◆ 録音音質4段階切替
◆ 分割、部分消去の編集機能も充実
◆ リピート再生
◆ 音楽再生機能搭載
◆ ACアダプターが使用可能で経済的
※ACアダプターは別売・市販品をお買い求めください。(P22参照)

ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。

商品に関するお問い合わせ

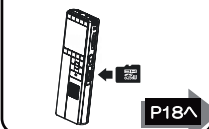
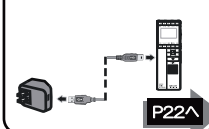
キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間：
月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
メールでのお問い合わせは
E-mail ： support@qriom.com
ホームページ ： http://www.qriom.com

早見表がついています

この度は、AM/FMラジオレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

速効!! 逆引き目次

P18へ

P22へ

P24へ

P24へ

P28へ

P29へ

P37へ

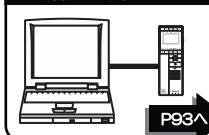
P52へ

P60、85

P62へ

P74へ

P76へ

P87へ

P93へ

P103へ

目　次

1. 安全上の警告及びご注意 ………… 7
2. ご使用の前に ………… 8
電池に関する注意 ………… 8
使用できる電池について ………… 8
3. はじめに ………… 9
本体各部の名称 ………… 10
付属品一覧 ………… 12
画面の説明 ………… 13
AM/FMラジオモード画面 ………… 13
ボイスレコーダーモード画面 ………… 14
音楽再生モード画面 ………… 15
ステレオイヤホンの使い方 ………… 16
FMラジオのアンテナについて ………… 16
付属のFMラジオアンテナ接続用変換ケーブルの使い方 ………… 17
ラインケーブルの使い方 ………… 17
外部マイク（別売・市販品）の使い方 ………… 18
マイクロSDカード(別売・市販品)の使い方 ………… 18
マイクロSDカードの取り扱いについて ………… 19
電池の入れ方 ………… 22
スタンドの使い方 ………… 22
別売・市販品の ACアダプター を使用する ………… 22
4. 基本的な使い方 ………… 23
電源の入れ方、切り方 ………… 24
メインメニューの表示ー モードの切り替えー ………… 24
ホールドスイッチの使い方 ………… 26
カーソルボタン、決定(再生/停止/電源)ボタンの使い方 ………… 27
数字の入力 ………… 27
戻るボタンの使い方 ………… 27
日付、時計を設定する ………… 28
日付、時計を表示する ………… 28
音量を調節する ………… 28

ボイスレコーダー、AM/FMラジオ、音楽再生
モードへ直接移動する(ショートカット機能) 29
基本設定 29
5. ラジオを聴く 34
アンテナの準備 36
FMラジオの場合 36
AMラジオの場合 36
ラジオをよりよく聴くためのコツ 36
ラジオの放送局を登録する 37
地域で選択して登録する 37
登録放送局一覧表 39
オートプリセット(自動登録)を使用して登録する 45
手動で登録する 46
手動で登録した放送局を削除する 48
今放送中のラジオを聴く 48
登録した放送局を呼び出す 48
手動で選局する 48
ラジオの録音 50
今聴いているラジオをすぐに録音する 50
録音の各種設定 51
録音先メモリー選択、フォルダの選択 51
録音音質の設定 52
録音したラジオを聴く 52
録音したラジオをすぐに再生する 52
再生/停止する 52
早戻し/早送り 53
一時停止 53
録音したファイルを探す 54
内蔵メモリー、マイクロSDメモリーの切り替え 54
フォルダの選択 54
ファイルの選択 55
各種再生モードの設定 56
リピート再生 56
A-Bリピート再生 57
A-Bリピート回数設定 57
イコライザー 58

再生スピード設定 …… 59
ファイルの削除 …… 60
ファイルを1つ削除 …… 60
フォルダ内のすべてのファイルを削除 …… 61
6. ラジオの予約録音 …… 62
操作の流れ …… 63
予約設定時の注意事項 …… 64
ラジオの予約録音を開始する …… 65
7. ボイスレコーダー(音声を録音・再生する) …… 73
本機をボイスレコーダーとして使う …… 74
フォルダの切り替え …… 74
録音する …… 74
録音する …… 74
一時停止する …… 75
停止して保存する …… 75
録音の各種設定 …… 76
いろいろな録音 …… 78
再生する …… 79
再生するファイルの選択 …… 79
再生・停止する …… 79
一時停止する …… 80
早戻し/早送り …… 80
再生中ファイルの情報表示 …… 80
再生の各種設定 …… 81
リピート再生 …… 81
A-Bリピート再生 …… 82
A-Bリピート回数設定 …… 83
イコライザー …… 83
再生スピード設定 …… 84
ファイルの削除 …… 85
ファイルを1つ削除 …… 85
すべてのファイルを削除 …… 86
8. 録音した内容を編集する …… 87
編集可能なファイルについて …… 88

録音したファイルを分割する …… 88
録音したファイルの一部分を消去する …… 90
9. パソコンで聞いたり、保存したりするには …… 93
パソコンとの接続、取り外し …… 94
録音したラジオや音声をパソコンで聞いてみる …… 96
録音したラジオや音声をパソコンに保存する …… 98
本製品をパソコンでフォーマット(初期化)するには …… 100
10. 音楽を聴く …… 103
パソコンからMP3音楽を取り込む …… 104
(メディアプレーヤーの使い方)
Windows XPの場合 …… 104
Windows　Vistaの場合 …… 109
Windows　7の場合 …… 113
パソコンから取り込んだ音楽を聴く …… 117
MUSICフォルダの選択 …… 117
音楽を聴く …… 118
ファイルの削除 …… 119
ファイルを1つ削除 …… 119
フォルダ内のすべてのファイルを削除 …… 120
11. 付録 …… 121
メニュー一覧表 …… 122
画面メッセージ一覧 …… 123
NHK第1、2周波数一覧 …… 124
最大録音時間の目安 …… 132
12. データの取扱いに関する注意 …… 133
13. 著作権について …… 133
14. 故障かな・・？と思ったら …… 134
15. 製品仕様 …… 136
16. 免責事項 …… 138
17. お手入れの仕方 …… 139
18. アフターサービスについて …… 140
19. 個人情報保護のお取扱いについて …… 140
保証書

1 安全上の警告及びご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、 必ず守ってください。

警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警 告

分解禁止 **修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。** ●火災・感電・けがの原因となります。	指示に従う **自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。** ●本体の変形・故障の原因となります。
禁止 **不安定な場所や傾いたところでは使用しない。** ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。	水ぬれ禁止 **水につけたり、水をかけたりしない。** ●ショート・感電の恐れがあります。
禁止 **開口部やすき間から異物を入れない。** ●火災・感電の恐れがあります。	指示に従う **雷が鳴り出したら本体に触れない。** ●感電やけがの恐れがあります。

２．ご使用の前に

■ 電池に関する注意

下記の注意事項をよくお読みの上、必ず守るようにしてください。

■ 必ず電池のプラス(＋)、マイナス(－)を正しく挿入してください。

■ 爆発及び破損の恐れがあるので、バッテリーを分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。

■ 長時間使用しない時は、バッテリーを抜いて保管して下さい。抜かない場合、液もれの原因となります。

■ 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で 洗い応急処置をした後、直ちに医師の治療を受けて下さい。

■ 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 指定された種類の電池を使用して下さい。

■ 付属の電池はテスト用のサービス電池となっています。お客様のお手元に届くまでに消耗している場合がございます。その際は、お手数でも新品の電池（市販品）をお買い求めください。

■ 使用できる電池について

本製品でご使用になることができる電池は以下の電池です。この電池以外をご 使用ならないよう十分に注意してください。

■単3形アルカリ乾電池（推奨：パナソニック、東芝、日立マクセル、サンヨー、SONY等の日本メーカーが生産している電池）

■ニッケル水素充電池（推奨：サンヨー社製エネループ）

＜ご注意＞■ニッケル水素充電池（サンヨー社製エネループなど）をご使用の 際は充電が満タンの状態でも電池残量表示が 若干減っている状態になります。これはアルカリ乾電池を基準に残量表示を設定しているためで 、アルカリ電 池の電圧が1.5Vに 対してニッケル水素充電池 は1.2Vと低いため起こる現象で す。製品の不具合ではございませんのでご了承ください。■100円ショップ等 で販売されているアルカリ電池は十分に再生、録音できない ことがありますので ご了承ください。■日本以外のメー カーのアルカリ電池やニッケル水素充電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。

■ マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音の際は 別売・市販品のACアダプターをご使用ください。アルカリ乾電池はご使用いただけますが、電池の消耗は早くなり、内蔵メモリーへの録音時の電池持続時間よりも短く なります。■ ニッケル水素充電池は マイクロSD、マイクロSDHC の種類や容量によって電池ではご使用になれない場合がありますので、ご注意ください。

■ オキシライド乾電池は使用できませんのでご注意ください。

3. はじめに

■ 本体各部の名称　・・・・P10

■ 付属品一覧・・・・P12

■ 画面の説明・・・・P13

AM/FMラジオモード画面・・・・P13

ボイスレコーダーモード画面・・・・P14

音楽再生モード画面・・・・P15

■ ステレオイヤホンの使い方・・・・P16

■ FMラジオのアンテナについて・・・・P16

付属のFMラジオアンテナ接続用変換

ケーブルの使い方・・・・P17

■ ラインケーブルの使い方・・・・P17

■ 外部マイク（別売・市販品）の使い方

・・・・P18

■ マイクロSDカード（別売・市販品）の

の使い方・・・・P18

■ マイクロSDカード の取り扱いについて

・・・・P19

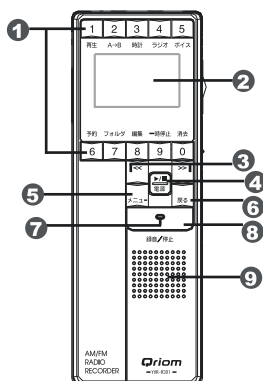
■ 電池の入れ方・・・・P22

■ スタンドの使い方・・・・P22

■ 別売・市販品のACアダプターを使用する

・・・・P22

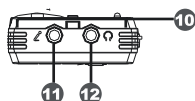
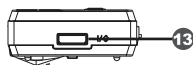
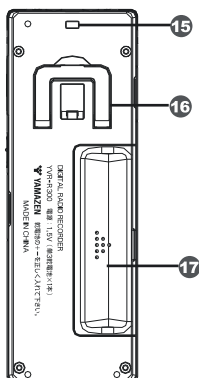
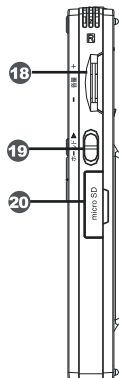
■ 本体各部の名称

＜本体前面＞

❶ 数字 ボタン

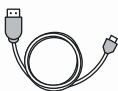
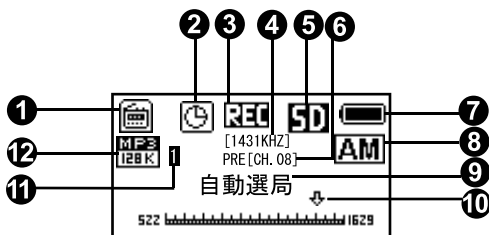
1 ・・・ 音楽再生モード ボタン
2 ・・・ A-Bリピートボタン
3 ・・・ 時計ボタン
4 ・・・ ラジオモード ボタン
5 ・・・ ボイスモード ボタン
6 ・・・ ラジオ 予約ボタン
7 ・・・ フォルダ選択ボタン
8 ・・・ 編集ボタン
9 ・・・ 一時停止ボタン
0 ・・・ 消去ボタン

❷ 液晶画面
❸ ≪・≫ ボタン
≪ ・・・ 早戻しボタン/カーソル左ボタン
≫ ・・・ 早送りボタン/カーソル右ボタン
❹ 再生/停止/電源ボタン
❺ メニューボタン
❻ 戻るボタン
❼ 録音LEDランプ
❽ 録音/停止ボタン
❾ 内蔵スピーカー

■ 本体各部の名称

<本体上面>

<本体下面>

<本体左側面>

<本体右側面>

⑩ 内蔵ステレオマイク
⑪ マイクジャック
⑫ イヤホンジャック
⑬ I/Oポート
⑭ USB端子
⑮ ストラップホール
⑯ スタンド
⑰ 電池ボックス
⑱ 音量ダイヤル
⑲ ホールドスイッチ
⑳ マイクロSDスロット

■ 付属品一覧

下記のとおり 、付属品が同梱されていることを確認してください。

■ 画面の説明

＜AM/FMラジオモード画面＞

❶ AM/FMラジオモード表示

❷ 予約録音セット中 表示

❸ 録音中“REC”が 点灯

❹ 現在周波数の表示

❺ SD アイコンはマイクロSDカードの挿入時に表示されます

❻ 現在選択中のプリセットチャンネル表示

❼ 電池残量マーク

❽ AM/FM 表示

❾ 自動/手動（選局）表示 、放送局名表示

❿ 現在選択中の周波数位置イメージ

⓫ 選択中のフォルダ番号（録音先）

1～4：ボイス録音フォルダ

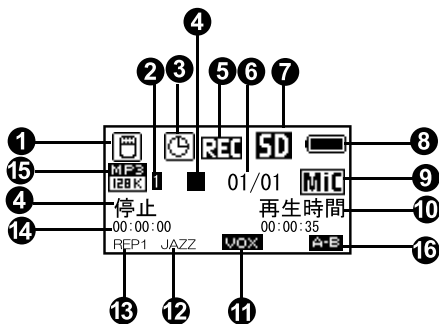
3～4：ラジオ録音フォルダ

⓬ 録音時のファイルの形式とビットレート P77参照

ファイル形式：MP3

ビットレート：128、96、32、8kbps

※ビットレートの数値が大きいほど音質がよくなります。また、数値が小さいほど長時間録音が可能です。

<ボイスレコーダーモード画面>

❶ ボイスレコーダー モード表示

❷ 選択中のフォルダ番号 P74参照

❸ 予約録音セット中表示

❹ 動作状態表示

■ 再生・録音停止表示　▶ 再生中表示　● 録音中表示　❚❚ 一時停止中表示

❺ 録音中“REC”が 点灯

❻ 現在選択中のファイル番号/ ファイル総数

❼ SD アイコンはマイクロSDカード の挿入時に表示されます

❽ 電池残量マーク

❾ 録音入力表示 P76参照

MiC マイク入力表示　LiNE ライン入力表示

❿ ＜再生時（選択中のファイルに対して）＞ P80参照

総再生時間/記録日 / ファイル名

※記録日は“日付”のみの表示となります

＜録音時 ＞　録音残時間表示

⓫ VOX設定時の 表示 P77参照

⓬ イコライザー設定表示 P83参照

NOR：ノーマル　ROCK：ロック　POP：ポップス　CLAS：クラシック

SOFT：ソフト　JAZZ：ジャズ　DBB：重低音

⓭ リピート設定 表示 P81参照

NOR：1ファイルのみ再生　REP1：1ファイルのみリピート再生

REP F：フォルダ内のすべてのファイルをリピート再生

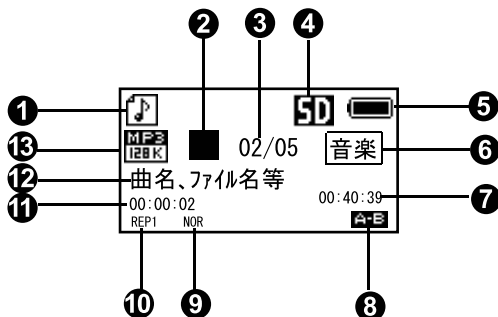
⓮ 録音・再生経過時間

⓯ ファイルの形式とビットレート P77参照

ファイル形式：MP3　ビットレート:128、96、32、8kbps

※ビットレートの数値が大きいほど音質がよくなります。また、数値が小さいほど長時間録音が可能です。

⓰ A-Bリピート表示 P82参照

<音楽再生モード画面>

❶ 音楽再生モード表示

❷ 動作状態表示

■ 再生・録音停止表示　▶ 再生中表示　❚❚ 一時停止表示

❸ 現在再生中のトラック番号/現在選択中のフォルダ内総トラック番号

❹ SD アイコンはマイクロSDカードの挿入時に表示されます

❺ 電池残量マーク

❻ 音楽/音声/AM/FM表示

❼ トラック時間

❽ A-Bリピート表示 P57参照

❾ イコライザー設定表示 P58参照

※ボイスレコーダーモードと同様になります

❿ リピート設定表示 P56参照

NOR：ノーマル再生　REP1：1曲リピート

REP F：フォルダリピート　ALL：全曲リピート

RAN：ランダム再生　INTR：頭出し再生

⓫ トラック再生経過時間

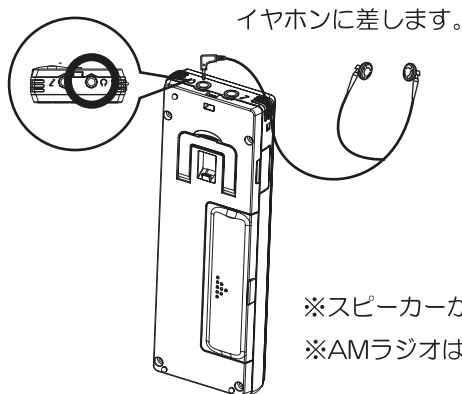
⓬ 再生中ファイル名又はID3V1TAGを表示 P118参照

⓭ 現在再生中のファイルの形式とビットレート P77参照

ファイル形式：MP3

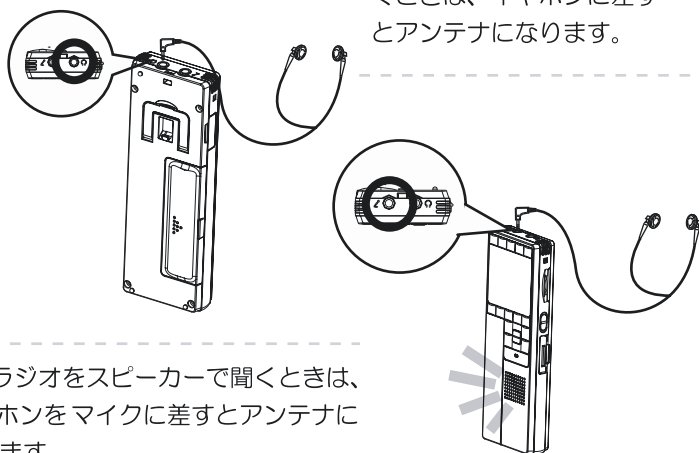
ビットレート：128、96、32、8kbps

※ビットレートの数値が大きいほど音質がよくなります。また、数値が小さいほど長時間録音が可能です。

■ ステレオイヤホンの使い方

※スピーカーからは音が出ません。

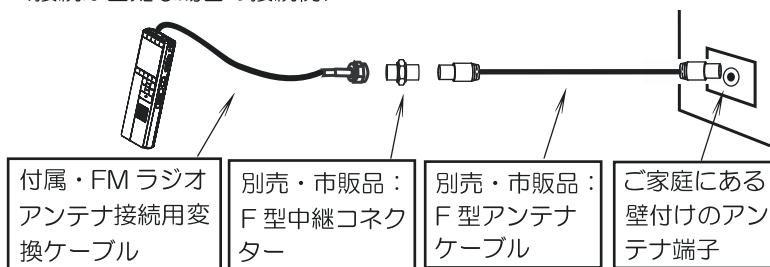
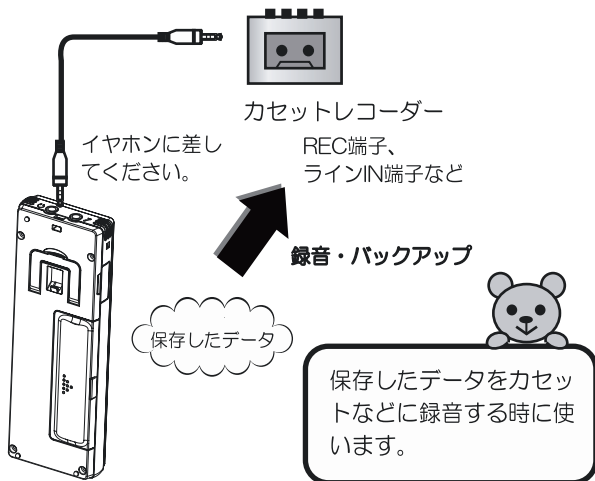
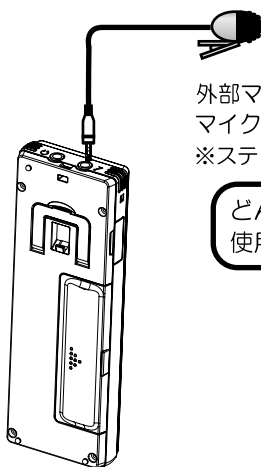
※AMラジオはモノラルとなります。

■ FMラジオのアンテナについて

FMラジオをイヤホンで聞くときは、イヤホンに差すとアンテナになります。

FMラジオをスピーカーで聞くときは、イヤホンを マイクに差すとアンテナになります。

<FMラジオ アンテナ接続用変換ケーブルについて>

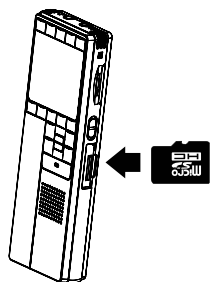
お客様のご家庭にある壁付けのアンテナ端子に本ケーブルを接続する際、壁付けのアンテナ端子の種類によっては本ケーブルを 接続することができない場合や、本ケーブルが 短くて 届かない場合、壁付けのアンテナ端子が1つしかなく接続が困難な場合があります。その際は、お客様の壁付けのアンテナ端子に合った、別売・市販品のＦ型アンテナケーブルとＦ型中継コネクターをお近くの電 気店等でお買い求めいただき、本ケーブルと接続してください。(下記の接続例を参考)

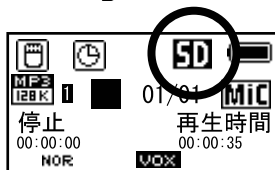
＜接続が困難な場合の接続例＞

■ ラインケーブルの使い方

■ 外部マイク(別売・市販品)の使い方

外部マイク（別売・市販品）

外部マイク（別売・市販品)を使う時は
マイクへ差してください。
※ステレオマイクに対応しています。

外部マイクをお使いください。端子のサイズは3.5mmφ、プラグインパワー方式コンデンサーマイクをお選びください。

■ マイクロSDカード(別売・市販品)の使い方

マイクロSDカードの向きに注意して挿入してください。

※注意

- 無理にマイクロSDカードを入れると、本機の破損等の思わぬトラブルの原因になりますのでご注意ください。
- NTFS形式でフォーマットされたマイクロSD、マイクロSDHCカードは絶対に本機に挿入しないでください。誤って挿入してしまった場合、保存されたデータがすべて破損してしまいますのでご注意ください。
- 本機にマイクロSDカードを挿入すると左図のように画面に“ SD ”が表示されます。

■ マイクロSD、マイクロSDHCカードの取り扱いについて

⚠注 意

- 本製品には マイクロSD、マイクロSDHCカード は付属しておりません。
- 別売りのマイクロSD、マイクロSDHCカードをお買い求め下さい。
- マイクロSD、マイクロSDHCカード への音楽ファイルの取り込み/再生時間は､ビットレート128kbps/サンプリング周波数 44.1KHzの場合､マイクロSD､マイクロSDHCカード容量1GB(1024MB)の場合､約960 分の音楽ファイルを取り込めます。1曲約4分 とすると約240曲程度の取り込み/再生ができます｡ビットレートを 64kbps にすると2倍の約 480曲程度の取り込み/再生ができます。
  （※64kbpsはパソコンからの取込みのみとなります）

⚠注 意

- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- 本機付属ケーブル以外のUSB延長ケーブル、USBハブによるPCとの接続は動作保証対象外となります。
- マイクロSD､マイクロSDHCカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードがフォーマットされてい ない場合、本機で 認識する事が出来ません。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードに 録音する場合(ライン入力､ボイス､AM/FM ラジオ) は ACアダプター又は必ず新品 のアルカリ電池をご 使用ください｡(パソコンから取り込む場 合 は除く) アルカリ乾電池はご使用いただけますが、電池の消 耗は早くなり､内蔵メモリーへの録音時電池持続時間よりも 短くなります。
  ニッケル水素充電池はマイクロSD､マイクロSDHCカードの 種類や容量によってご使用になれない場合があります。

⚠ マイクロSD、マイクロSDHCカード を本製品に認識させる際のご注意

本製品の電源が入っている状態でマイクロSD 、マイクロSDHCカードをプッシュすると簡単にマイクロ SD 、マイクロSDHCカードを認識します。電源を入れる前からマイクロSD 、マイクロSDHCカード を入れている場合は 電源を入れた時に マイクロSD、マイクロSDカード が認識されていない 可能性があります。その際 は電源が入っている状態でいったん、マイクロ SD 、マイクロSDHC カードをプッシュして取り出し、再度プッシュして入れると簡単に認識します。電池を入れる前に マイクロSD 、マイクロSDHCカードを入れてしまった時も上記と同様にいったん、取り出し、再度入れるというようにすると簡単に認識します。

※電源をオフにする直前の状態が マイクロSD 、マイクロSDHC カードを使っていた場合は再度電源を入れた時もマイクロ SD、マイクロSDHC カードを認識 した状態で電源が 入ります。

※内蔵メモリーにデータが 入っていない場合も自動的にマイクロSD 、マイクロSDHC カードを読みにいきます。

⚠ 使用できるマイクロSD、マイクロSDHCカードについて

本機では micro SDHC™ カード 、microSD™ カードが使用できます。（別売り・市販品 ）

※ マイクロSDカード最大2GB、マイクロSDHCカード最大16GBまで対応可能です。
マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

<再生について>

- 本製品で再生可能な形式は“MP３〞形式です。
- 収録されている音楽ファイルの形式がMP３であっても著作権が保護されているファイルの場合は再生できません。

<録音について>

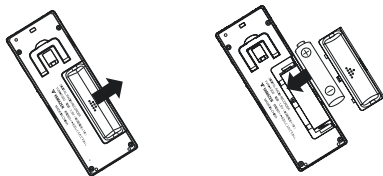
- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。マイクロSD、マイクロSDHCカード及び内部の音楽データが破損する恐れがあります。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはマイクロSD、マイクロSDHCカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録された内容については、マイクロSD、マイクロSDHCカードに正しく録音されているか確認していただくことをお勧めいたします。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音する際の電池持続時間はマイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカー、種類により、変動致しますのでご了承ください。

⚠注　意

- 使用後取り出した後は必ずケースにいれて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。

SDロゴはパナソニック㈱、SanDisk Corporation、㈱東芝の登録商標です。

■ 電池の入れ方

1 電池カバーを外して下さい。

2 付属の単3アルカリ電池を＋と－の向きに注 意して入れてください。

※電池は長時間使用しない時は必ず取り出してください。液漏れの原因となる恐れがあります。

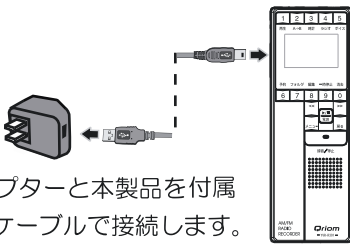
■ スタンドの使い方

本製品の裏には本体を立てるスタンドが付いています。
机の上などに置いて録音する際に便利です。

■ 別売・市販品のACアダプターを使用する

本製品にはACアダプターは同梱されていません。お近くの電気店等で下記のACアダプターをお買い求めください。

トランス式USB　ACアダプター
出力端子：USB　A端子
定格出力：5V、200mA以上

ACアダプターを使用すると電池が無くても使用する事ができます。

ACアダプターと本製品を付属のUSBケーブルで接続します。

※電池が本機に入っている場合は、ACアダプターに電源が切り替わります。
※本機へACアダプターを接続する際は本機の電源をオフ(P24参照)にして行ってください。

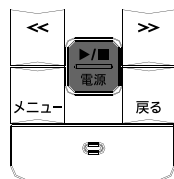
4. 基本的な使い方

- 電源の入れ方、切り方・・・・P24
- メインメニューの表示 ──モードの切り替え・・・・P24
- ホールドスイッチの使い方・・・・P26
- カーソルボタン、決定(再生/停止/電源)ボタンの使い方・・・・P27
- 数字の入力・・・・P27
- 戻るボタンの使い方・・・・P27
- 日付、時計を設定する・・・・P28
- 日付、時計を表示する・・・・P28
- 音量を調節する・・・・P28
- ボイスレコーダー、AM/FMラジオ、音楽再生モード へ直接移動する(ショートカット機能)・・・・P29
- 基本設定・・・・P29

はじめに
基本的な使い方
ラジオを聴く
ラジオの予約録音
ボイスレコーダー（音声を録音・再生する）
録音した内容編集する
パソコンで聞いたり、保存したりするには
音楽を聴く

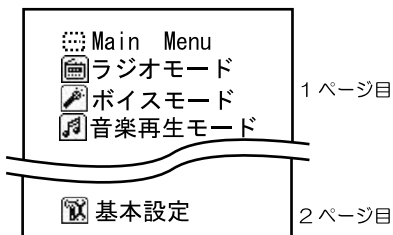
■ 電源の入れ方、切り方

<入れ方>

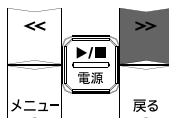
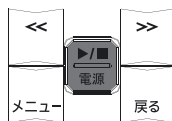
電池を入れて、再生/停止・電源ボタンを長押し（約２秒以上押す）すると、電源が入ります。※最初にメインメニューが表示されます。

<切り方>

再生/停止・電源ボタンを長押し（約２秒以上押す）すると、電源を切ることができます。※電源がオフになる直前に予約録音がセットされていると画面下に現在時刻から一番近い予約開始時刻が表示されます。

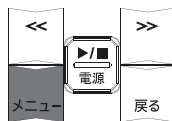
■ メインメニューの表示 ―モードの切り替え―

<一番最初に表示される画面>

本製品の電源を入れると、一番最初に表示されるメニューです。※電源を入れると必ず最初に表示されます。各モードからメインメニューを表示するには“メニュー”ボタンを短押します。※録音、再生中など、“メニュー”ボタンを押してもメインメニューに切り替わらない場合があります。

<メインメニューから各モードを選択してお好みのモードに切り替えます>

1 下記の画面で“ << ・ >> ”ボタンを押すとカーソルが上下に移動し、選択された項目が反転します。例として“ >> ”ボタンを押して“ボイスモード”を選択します。

2 “ボイスモード” にカーソルが合っている状態で “▶/■電源” ボタンを短押しします。

3 ボイスモードに切り替わります。

※左記の画面でメニューボタンを長押しするとボイスモードメニューを表示します(他のモードも同様にそれぞれのモードメニュを表示します。)

4 再度 “メニュー” ボタンを短押しするとメインメニューが表示されます。※他のモードも同様に操作してください。

<各モードの説明>

ラジオモード

AM・FMラジオ　聴く時のモードです。ラジオの予約録音もこのモードで行います。➡ P48へ

ボイスモード

ボイスモード

ボイスレコーダーのモードです。音声を録音したり、録音した音声を聴いたりできます。
※録音したラジオもこのモードで聴くことができます。
➡ P73へ

音楽再生モード

⣿ Main Menu

🎵 音楽再生モード

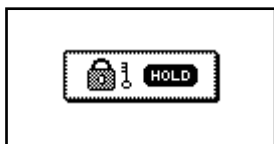
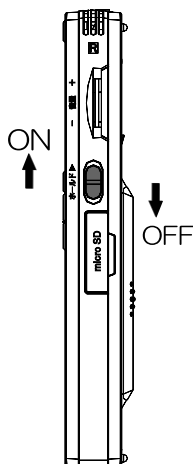
パソコンから転送したMP3音楽などを聴くことができるモードです。
※本機で録音した音声やラジオもこのモードで聴くことができます。
➡ P117へ

基本設定

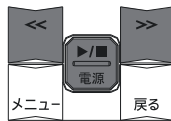
基本設定

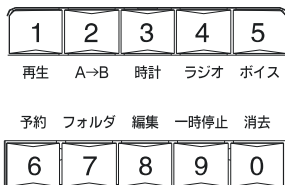
※2ページ目
本機の時計など基本となる設定を行うモードです。
➡ P29へ

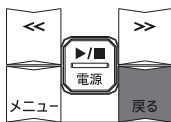
■ホールドスイッチの使い方

- 本体右側面にあるホールドスイッチを上にスライドさせると誤動作を防ぐことができます。
- ホールド状態を解除するにはホールドスイッチを下にスライドさせます。
- ホールドがオン状態の時に何かボタンを押すと画面に下図のように表示されます。
  ※録音中は表示されません。

※ 本体が動作しない場合は、ホールドスイッチが上にスライドされていないか確認してください。
※ ホールドがオンの状態の時でも、"▶/■ 電源"ボタンを長押しすると電源が 入ります。電源を切ることはできません。

■ カーソルボタン、決定(再生/停止/電源)ボタンの使い方

カーソルボタンはファイルのスキップ、メニューの選択 、ラジオの選局時等に押してください。
決定(再生/停止)ボタンの使い方は以下の通りです。

- 選択したデータを再生します。
- 再生中に短押しすると、再生を停止します。
- 長押しすると、電源を投入、切断します。
- 設定内容の決定時に押します。
- 録音中に短押しすると録音残時間等を表示します。

■ 数字の入力

（数字ボタンの使い方）

本製品では、ラジオの予約時に数字ボタンで 時刻、周波数の設定が可能です。また、ラジオモードでプリセットチャンネルを1〜9の数字ボタンで直接入力して、設定し聴くことができます。
再生したいファイルのファイル番号を直接入力して選択することができます。

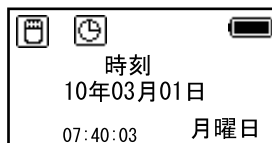
■ 戻るボタンの使い方

前のメニューに戻りたい時は “戻る” ボタンを短押しして戻ることが できます。各種メニューで “戻る” ボタンを長押しすると元いたモードに戻ることができます。

■ 日付、時計を設定する

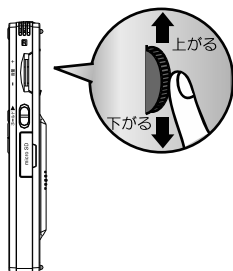
電源を入れ、カーソル“ ≫ ”ボタンを押してメインメニュー２ページ目の“基本設定”を選択し､決定ボタン（▶/■ 電源）を押すと 時刻設定の画面が表示されますので、 数字ボタ ン“0～9” を押して直接入力してください。“ ≪・≫ ”ボタンを押 して設定箇所を移動できます｡入力が終了したら､“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押して決定してください。“メニュー” ボタンを短押しするとメインメニューに戻ります。※P30 参照

※年度は西暦表示です。
※本製品の時計は 24 時間制です。
時計の入力は 24 時間制で設定してください。AM、PM は表示されません。

■ 日付、時計を表示する

“3 時計” ボタンを長押しすると、時計表示モードになり時刻を確認することができます｡※メインメニュー､録音､再生時は表示されません。

※本製品の時計は 24 時間制での 表示なります。AM、PM は表示されません。

■ 音量を調節する

本製品側面の音量調整ダイヤルを回し、音量を変えることができます。

※ラジオを聴いている時はラジオの受信状態によっても音量が変わることがあります。

■ ボイスレコーダー、AM/FMラジオ、音楽再生モード へ直接移動する(ショートカット機能)

本操作ではメインメニューを使用せずに直接モードからモードへ移動することが出来ます。例えば、ボイスモードの状態で、ラジオボタンを長押しするとラジオモードへ切り替わります。その状態でさらにラジオボタンを長押しするとFM→AMと切り替わります。その他のモードへ移動したい場合は、移動先のモードの数字を長押しします。
※メインメニューが表示されている状態でも本操作は可能です。

1 再生　：音楽再生モード
4 ラジオ：ラジオモード
5 ボイス：ボイスモード
6 予約　：ラジオ予約モード
（ラジオ予約モードはボイス、音楽再生モードからは移動できません）

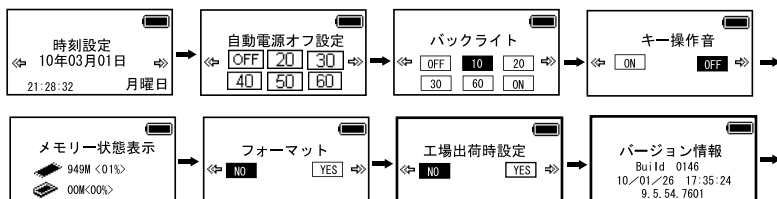
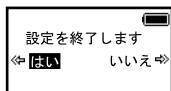
■ 基本設定

電源を入れると、メインメニュー画面が表示されます。カーソル“ >> ”ボタンを押して２ページ目の基本設定を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押すと最初に時刻設定画面が表示されます。基本設定では本機を使用する上で重要な日付、時刻などの設定を行います。

＜操作の流れ、手順＞

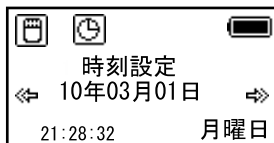
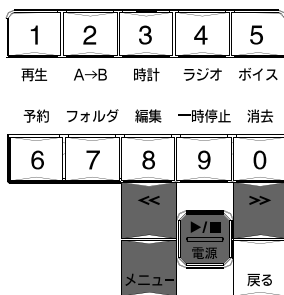
基本設定画面が表示されている状態で“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押す度に選択した内容が決定されて下記のように設定項目が切り替わります。

P30 へつづく

設定を終了します
はい　いいえ

※この画面で“はい”を選択して決定ボタン（▶/■ 電源）を押すと変更した内容を保存してメインメニュー画面に戻ります。“いいえ”を選択すると“時刻設定”画面に戻ります。

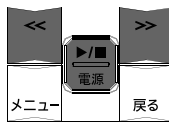
※項目の途中でも､メニューボタンを押すと変更された内容は保存され､メインメニュー画面に戻ります。

<日付、時刻設定>

最初に時刻設定の画面が表示されますので、数字ボタン“0～9”を押して直接入力してください。“ << ・ >> ”ボタンを押して設定箇所を移動できます。入力が終了したら、“　　”ボタンを押して決定してください。その後は自動電源オフ設定画面に切り替わります。

※本製品の時計は 24 時間制です。時計の入力は 24 時間制で設定してください。AM、PM は表示されません。

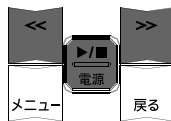
<自動電源オフ設定>

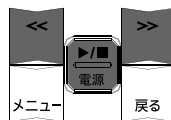
本製品は電池の無駄な消費を防ぐために､自動電源オフ機能を搭載しています。本体のボタンを操作しない状態が一定時間継続すると､自動的に電源をオフします。電源をオフにするまでの時間は20/30/40/50/60（分）から選択できます。“OFF”を選択すると自動で電源が OFF になりません。
設定は以下の手順で行ってください。

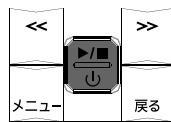
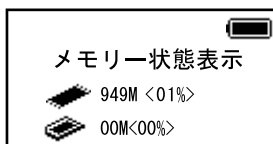
自動電源オフ設定画面が表示されたら､“ << ・ >> ”ボタンを押して選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押して決定してください。その後はバックライト設定画面に切り替わります。

<バックライト>

本製品のLCDバックライトは、電池の無駄な消費を防ぐために、一定の時間を経過すると自動的に消灯します。バックライトが消灯するまでの時間を10/20/30/60（秒）から選択できます。
“ON”を選択すると、常時点灯、“OFF”を選択すると、常時消灯となります。

設定は以下の手順で行ってください。

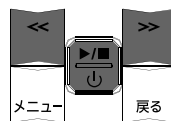
バックライト設定画面が表示されたら、“ ≪・≫ ” ボタンを押して選択し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押して決定してください。その後はキー操作音設定画面に切り替わります。

<キー操作音>

キー操作音画面が表示されている状態で “ ≪・≫ ”ボタンを押して選択し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押して決定してください。その後はメモリー状態表示画面になります。 “OFF”に設定するとボタンを押しても操作音はでません。

＜メモリー状態表示＞

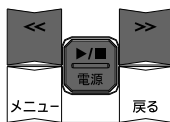
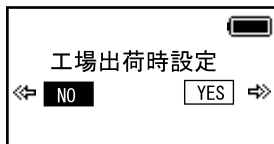
メモリ状態表示画面から内蔵メモリーとSDカードメモリーの残り容量（MB単位）と使用量（％）が確認できます。確認できましたら、“▶/■ 電源”ボタンを押して内蔵メモリーのフォーマット設定画面に切り替わります。

※メモリーの状態が表示されるまでに約１～20秒間かかります。ＳＤカードの種類、容量により変化します。

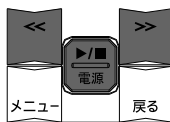
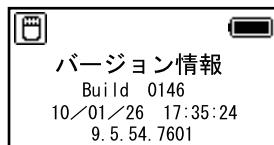
＜フォーマット（内蔵）＞

本製品では内蔵メモリーのフォーマットができます。
※フォーマットを実施すると、メモリーに保存されているファイル、データは全て消去されます。元に戻すことはできませんので実行する際は十分に注意して行ってください。

フォーマット設定画面が表示されている状態で“ << ・ >> ”ボタンを押して“YES”を選択し、“▶/■ 電源”ボタンを押して決定してください。その後は工場出荷時設定画面になります。

＜工場出荷時設定＞

本製品の設定を工場出荷時の初期状態に戻すには、次の手順で操作します。

工場出荷時設定画面が表示されている状態で“ ≪・≫ ”ボタンを押して“YES”を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押して決定してください。その後はバージョン情報画面になります。

＜バージョン情報＞

バージョン情報画面から本製品のファームウェアのバージョンが表示されます。確認できましたら、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押すとシステム設定が全て完了します。

＜設定の途中でメインメニューに戻るには＞

“メニュー” ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

5．ラジオを聴く

■ アンテナの準備・・・・P36
FMラジオの場合・・・・P36
AMラジオの場合・・・・ P36
ラジオをよりよく聴くために・・・・P36
■ ラジオの放送局を登録する・・・・P37
地域で選択して登録する・・・・P37
登録放送局一覧表・・・・P39
オートプリセット(自動登録)
を使用して登録する・・・・P45
手動で登録する・・・・P46
手動で登録した放送局を削除する・・・・P48
■ 今放送中のラジオを聴く・・・・P48
登録した放送局を呼び出す・・・・P48
手動で選局する・・・・P48
■ ラジオの録音・・・・P50
今聴いているラジオをすぐに録音する・・・・P50
録音の各種設定・・・・ P51
録音先メモリー選択・・・・P51
フォルダの選択・・・・P51
録音音質の設定・・・・P52
■ 録音したラジオを聴く・・・・P52
録音したラジオをすぐに再生する・・・・P52

再生/停止する・・・・P52
早戻し/早送り・・・・P53
一時停止・・・・P53
■ 録音したファイルを探す・・・・P54
内蔵メモリ、マイクロSDメモリーの切り替え・・・・P54
フォルダの選択・・・・P54
ファイルの選択・・・・P55
■ 各種再生モードの設定・・・・P56
リピート再生・・・・P56
A-Bリピート再生・・・・P57
A-Bリピート回数設定・・・・P57
イコライザー・・・・P58
再生スピード設定・・・・P59
■ ファイルの削除・・・・P60
ファイルを1つ削除・・・・P60
フォルダ内のすべてのファイルを削除・・・・P61

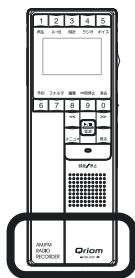
■ アンテナの準備

＜FMラジオの場合＞

本機のイヤホン又はマイク端子に付属のステレオイヤホン又はFMラジオアンテナ接続用変換ケーブルを接続してください。

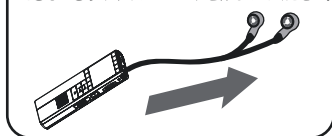
FMラジオのアンテナについては、16、17ページの内容をご参照ください。

＜AMラジオの場合＞

AMラジオのアンテナは本体の下部に内蔵されていますので、屋内でご使用の場合は本体を持ってできるだけ窓際等の屋外に近いところへ移動してご使用ください。

※注意　屋外に比べて屋内ではラジオ感度は悪くなります。

※鉄筋コンクリートビル内では受信することができませんので、できるだけ窓際へ移動してください。

※パソコンやテレビ等の電化製品の近くでは受信状態が非常に悪くなりますので、できるだけ離れてご使用ください。

■ ラジオをよりよく聴くためのコツ

■ ラジオの放送局を登録する

操作画面の流れ

P24 を参照してメインメニューからラジオモードを選択し、“メニュー”ボタンを長押しすると下図のようにラジオメニューが表示され、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押す度に画面が切り替わります。設定の途中でも“メニュー”ボタンを押すと 前項までの設定した内容が保存され、元のラジオ画面に戻ります。また、“設定を終了します”の画面で“はい”を選択すると設定したすべての項目の内容が保存され、元のラジオ画面に戻ります。

1ページ目

2ページ目

設定を終了します
はい　いいえ

※オートプリセットを
　ON に設定した場合、
　地域設定画面は表示
　されません。

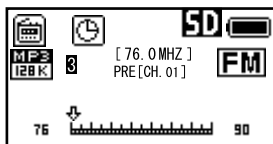
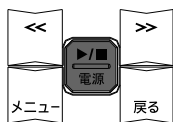
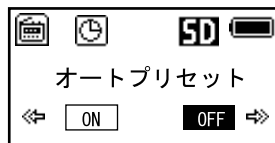
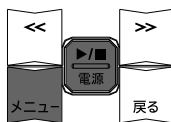
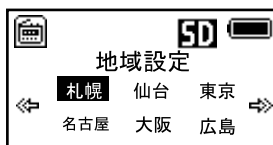
<地域で選択して登録する>

以下の手順で登録済みの地域を選択し、放送局を登録してください。

1 メインメニューが表示されている画面（P２４参照）でラジオモードを選択して決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。

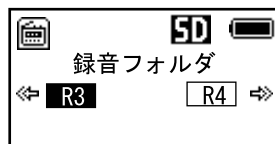
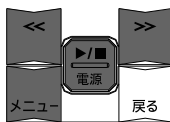
※他のモードが表示されている場合は“ 4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

2 AM に切り替える場合は、“ 4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

再生　A→B　時計　ラジオ　ボイス

3 ラジオモード画面から“メニュー”ボタンを長押しすると下図 のように表示されますので、“ ≪・≫ ” ボタンを押してオートプリセットを“OFF”に設定し、“ ▶/■電源 ”ボタンを押してください。

4 下図のように地域設定画面に切り替わります。

1ページ目

2ページ目

5 “ ≪・≫ ”ボタンで地域を選択し、“ ▶/■電源 ”ボタンで決定 後、“録音フォルダ”の選択画面が表示されます。メニューボタンを押すと設定を保存して元のラジオモード画面に戻ります。

※“録音フォルダ”の選択画面で“ ▶/■電源 ”ボタンを押すと“設定を終了します”と表示されますので“はい”を選択して“ ▶/■電源 ” ボタンを押すと設定を保存して元のラジオモード画面に戻ります。

選択した地域のAM/FM放送局がプリセットに登録されます。放送局の選択は数字ボタンでプリセット番号(CH)を直接入力するか、又は“ ≪・≫ ”ボタンを押します。（P48 参照）

※登録放送局一覧表は次のページをご参照ください。

登録放送局一覧表

東　京			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	Inter FM	Inter	76.1 MHZ
2	FM 栃木	栃木	76.4 MHZ
3	bay fm	bay	78.0 MHZ
4	NACKS	NACK5	79.5 MHZ
5	TOKYO FM	TOKYO	80.0 MHZ
6	J-WAVE	J-WAVE	81.3 MHZ
7	NHK FM東京	NHK東京	82.5 MHZ
8	FM 富士	富士	83.0 MHZ
9	FM ヨコハマ	ヨコハマ	84.7 MHZ
10	FM 群馬	群馬	86.3 MHZ
AM			
1	NHK 第1東京	NHK1	594 KHZ
2	NHK 第2東京	NHK2	693 KHZ
3	山梨放送	山梨	765 KHZ
4	TBS	TBS	954 KHZ
5	文化放送	文化	1134 KHZ
6	茨城放送	茨城	1197 KHZ
7	ニッポン放送	ニッポン	1242 KHZ
8	ラジオ日本	日本	1422 KHZ
9	栃木放送	栃木	1530 KHZ

名　古　屋			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	FM 福井	福井	76.1MHZ
2	FM NIIGATA	NIIGATA	77.5MHZ
3	ZIP FM	ZIP	77.8MHZ
4	FM 三重	三重	78.9MHZ
5	FM PORT	PORT	79.0MHZ
6	K-MIX	K-MIX	79.2MHZ
7	RADIOi	RADIOi	79.5MHZ
8	FM 長野	長野	79.7MHZ
9	Radio 80	Radio 80	80.0MHZ
10	FM 石川	石川	80.5MHZ
11	FM 愛知	愛知	80.7MHZ
12	NHK FM 名古屋	NHK名古屋	82.5MHZ
13	FM とやま	とやま	82.7MHZ
AM			
1	NHK 第1名古屋	NHK 1	729KHZ
2	北日本放送	北日本	738KHZ
3	福井放送	福井	864KHZ
4	NHK第2名古屋	NHK 2	909KHZ
5	CBCラジオ	CBC	1053KHZ
6	信越放送	信越	1098KHZ
7	北陸放送	北陸	1107KHZ
8	新潟放送	新潟	1116KHZ
9	東海ラジオ	東海	1332KHZ
10	SBS	SBS	1404KHZ
11	岐阜放送	岐阜	1431KHZ

大　阪			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	FM COCOLO	COCOLO	76.5MHZ
2	FM 滋賀	滋賀	77.0MHZ
3	FM 802	802	80.2MHZ
4	NHK FM京都	NHK 京都	82.8MHZ
5	FM 大阪	大阪	85.1MHZ
6	NHK FM神戸	NHK 神戸	86.5MHZ
7	NHK FM大阪	NHK 大阪	88.1MHZ
8	a-station	a-station	89.4MHZ
9	Kiss FM	Kiss	89.9MHZ
AM			
1	ラジオ関西	関西	558KHZ
2	NHK 第1大阪	NHK 1	666KHZ
3	NHK 第2大阪	NHK 2	828KHZ
4	ABC	ABC	1008KHZ
5	KBS京都	KBS	1143KHZ
6	毎日放送	毎日	1179KHZ
7	ラジオ大阪	大阪	1314KHZ
8	和歌山放送	和歌山放送	1431KHZ

広　島			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	FM 岡山	岡山	76.8 MHZ
2	FM 山陰	山陰	77.4 MHZ
3	HFM	HFM	78.2 MHZ
4	FM 香川	香川	78.6 MHZ
5	NHK 山口	山口	79.2 MHZ
6	FM 愛媛	愛媛	79.7 MHZ
7	FM 徳島	徳島	80.7 MHZ
8	FM 高知	高知	81.6 MHZ
9	NHK FM広島	NHK 広島	88.3 MHZ
AM			
1	NHK第2広島	NHK 2	702 KHZ
2	山口放送	山口	765 KHZ
3	高知放送	高知	900 KHZ
4	NHK 第1広島	NHK 1	1071 KHZ
5	南海放送	南海	1116 KHZ
6	四国放送	四国	1269 KHZ
7	中国放送	中国	1350 KHZ
8	山陰放送	山陰	1431 KHZ
9	西日本放送	西日本	1449 KHZ
10	山陽放送	山陽	1494 KHZ

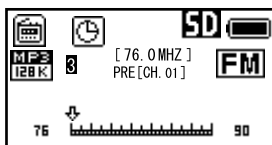
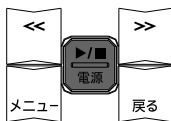
福　岡			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	LOVE FM	LOVE	76.1MHZ
2	フレンズFM	フレンズ	76.2MHZ
3	FM 熊本	熊本	77.4MHZ
4	FM 佐賀	佐賀	77.9MHZ
5	CROSS FM	CROSS	78.7MHZ
6	FM長崎	長崎	79.5MHZ
7	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHZ
8	FM福岡	福岡	80.7MHZ
9	FM宮崎	宮崎	83.2MHZ
10	NHK FM福岡	NHK 福岡	84.8MHZ
11	FM沖縄	沖縄	87.3MHZ
12	FM大分	大分	88.0MHZ
AM			
1	NHK第1福岡	NHK1	612KHZ
2	琉球放送	琉球	738KHZ
3	ラジオ沖縄	沖縄	864KHZ
4	宮崎放送	宮崎	936KHZ
5	NHK 第2福岡	NHK 2	1017KHZ
6	大分放送	大分	1098KHZ
7	南日本放送	南日本	1107KHZ
8	熊本放送	熊本	1197KHZ
9	長崎放送	長崎	1233KHZ
10	RKB 毎日放送	RKB 毎日	1278KHZ
11	九州朝日放送	九州朝日	1413KHZ
12	NBC ラジオ佐賀	NBC 佐賀	1458KHZ

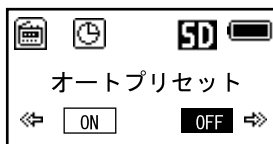
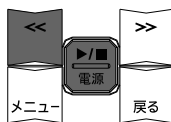
札　　幌			
FM			
CH	放送局	表示名	周波数
1	FM 北海道	北海道	80.4 MHZ
2	FM ノースウェーブ	ノースウェーブ	82.5 MHZ
3	NHK FM札幌	NHK 札幌	85.2 MHZ
AM			
1	NHK第1札幌	NHK1	567KHZ
2	NHK第2札幌	NHK2	747KHZ
3	北海道放送	北海道	1287KHZ
4	STV ラジオ	STV	1440KHZ

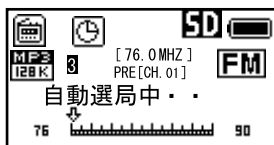
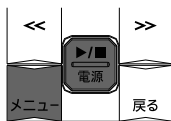
仙　　台			
FM			
	放送局	表示名	周波数
1	FM岩手	岩手	76.1 MHZ
2	FM仙台	仙台	77.1MHZ
3	FM青森	青森	80.0 MHZ
4	FM山形	山形	80.4 MHZ
5	ふくしまFM	ふくしま	81.8 MHZ
6	NHK FM仙台	NHK 仙台	82.5 MHZ
7	FM秋田	秋田	82.8 MHZ
AM			
1	岩手放送	岩手	684 KHZ
2	NHK第1仙台	NHK1	891KHZ
3	山形放送	山形	918KHZ
4	秋田放送	秋田	936KHZ
5	NHK第2仙台	NHK2	1089KHZ
6	青森放送	青森	1233KHZ
7	東北放送	東北	1260KHZ
8	ラジオ福島	福島	1458KHZ

<オートプリセット（自動登録）を使用して登録する>

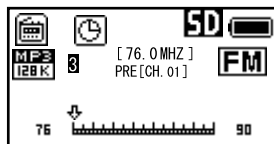
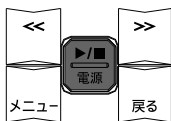
1 メインメニューが表示されている画面 (P24参照) でラジオモードを選択して決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。

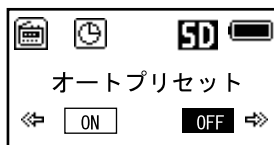
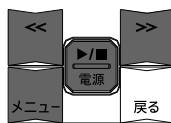
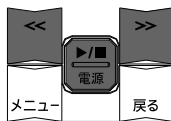
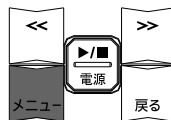
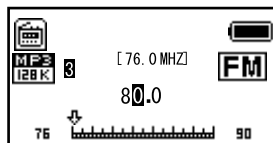
※他のモードが表示されている場合は "4 ラジオ" モードボタンを長押ししてください。

2 AM に切り替える場合は、"4 ラジオ" モードボタンを長押ししてください。

3 ラジオモード画面から "メニュー" ボタンを長押しすると下図になります。

4 " << " ボタンで "ON" を選択して " ▶/■ 電源 " ボタンを押すと "録音フォルダ " の画面が表示されます。

オートプリセットを "OFF" に設定すると登録した CH(チャンネル) はすべて消去されますのでご注意ください。

5 “録音フォルダ” 画面が表示されている状態で “メニュー” ボタンを短押し、又は決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しして “設定を終了します” 画面で “はい” を選択すると自動的にオートスキャンが開始され、現在受信可能な放送局を全て本体に登録します。

※電源オン時、無理に電池を抜いた場合、登録したプリセットがすべて消えてしまうことがありますのでご注意ください。

＜手動で登録する＞

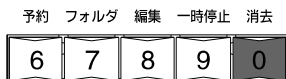
1 メインメニューが表示されている画面 (P24参照) でラジオモードを選択して決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。※他のモードが表示されている場合は “4 ラジオ” モードボタンを長押ししてください。

2 AM に切り替える場合は、“4 ラジオ” モードボタンを長押ししてください。

3 ラジオモードの画面から “メニュー” ボタンを長押しすると下図のような画面になりますので “ ≪・≫ ” ボタンでオートプリセットを “OFF” に設定し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押してください。

4 次に地域設定画面が表示されますので“ ≫ ”ボタンを押して2ページ目に移動します。右下の画面が表示されますので“OFF”を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押してください。

5 “メニュー”ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

6 プリセットする周波数を選局します。例としてFMで80.0MHzを選局する場合、数字ボタン“8” “0”“0”を短押しして、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを短押しすると周波数が設定されます。

※数字入力以外に“ ≪・≫ ”ボタンで選局できます。
“ ≪ ”を押すたびにFMの場合は0.1MHzステップで下がります。AMの場合は9KHzで下がります。
“ ≫ ”を押すたびにFMの場合は0.1MHzステップで上がります。AMの場合は9KHzで上がります。

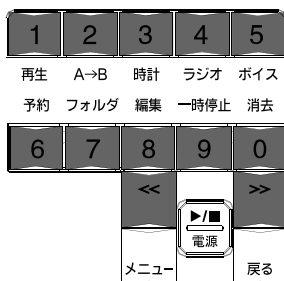
7 放送局を手動で選局した後、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押すと本体プリセットに登録されます。

※プリセット番号はAM、FMそれぞれCH01～20まで登録することができます。
※電源オン時、無理に電池を抜いた場合、登録したプリセットがすべて消えてしまうことがありますのでご注意ください。

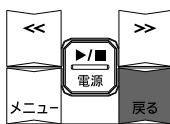
＜手動で登録した放送局を削除する＞

消去したいプリセット番号が表示されている状態で“消去”ボタンを長押しすると登録が削除されます。

※オートプリセット及び地域設定で登録したプリセットは削除できません。

■ 今放送中のラジオを聴く

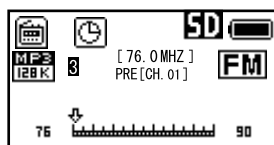
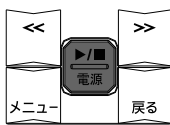
＜登録した放送局を呼び出す・地域設定、オートプリセットの場合＞

地域設定のCH番号（P39～44参照）とオートプリセットで設定したCH番号の呼び出しは登録した番号の数字ボタン“1～9”を押して選択します。又は“<<・>>”ボタンで 選択できます。

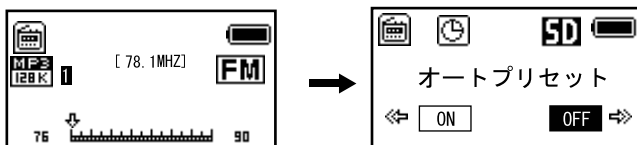
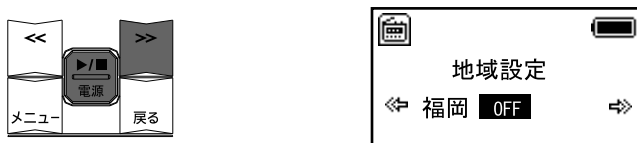
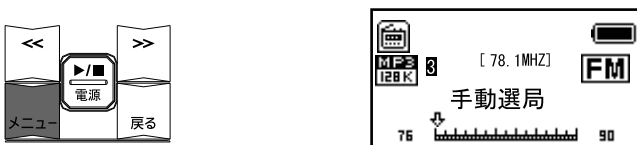
※プリセットCH10～20は“<<・>>”ボタンのみでの選択となります。

＜登録した放送局を呼び出す・手動で登録した場合＞

“戻る”ボタンを短押しする度に、CH01、02、03・・・・という順 番に選択します。

＜手動で選局する＞

1 メインメニューが表示されている画面（P２４参照）でラジオモードを選択して決定ボタン（▶/■ 電源）を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。

※他のモードが表示されている場合は“4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

2 AMに切り替える場合は、“ 4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

3 ラジオモード 画面から “メニュー” ボタン を長押しして 下図 の ラジオモードメニューを表示します。オートプリセットを “ <<・>> ”ボタンで“OFF”に設定し、“ ▶/■電源 ”ボタンで決定してください。

4 地域設定を “ >> ” ボタンで “OFF” に 選択し、“ ▶/■電源 ” ボタンを押すと “録音フォルダ” の画面が表示されます。

5 “録音フォルダ” の画面が表示されている状態で “メニュー” ボタンを 短押し、又は決定ボタン(▶/■電源)を短押しして “設定を終了します” 画面で “はい” を選択して “ ▶/■電源 ” ボタンを押すとラジオ画面に戻ります。

6 数字ボタンで直接周波数入力して選局します。例として“8”“0”“0”“▶/■ 電源”という順番にボタンを短押しすると下図になります。

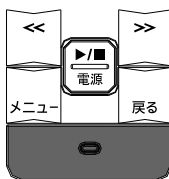
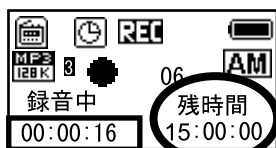
予約　フォルダ　編集　一時停止　消去

※数字入力以外に“<<・>>”ボタンで選局できます。

“<<”を押すたびにFMの場合は0.1MHｚステップで下がります。AMの場合は9KHｚで下がります。
“>>”を押すたびにFMの場合は0.1MHｚステップで上がります。AMの場合は9KHｚで上がります。

■ ラジオの録音

<今聴いているラジオをすぐに録音する>

1 ラジオを聴いている状態で“録音/停止”ボタンを押すと画面が下図のように切り替わり“REC”が点灯し録音を開始します。

録音／停止

※“▶/■ 電源”ボタンを短押しすると“録音経過時間”、“残時間”が表示されます。

2 録音を停止する時は再度“録音/停止”ボタンを押してください。

録音／停止

※本機にマイクロSD、マイクロSDHCカードが挿入されている場合、録音中に内蔵メモリーの空き容量がなくなると録音を停止して保存し、自動的に録音先メモリーをマイクロSD、マイクロSDHCカードに切り替えて録音を再開します。

また、最初にマイクロSD、マイクロSDHCに録音していて空き容量がなくなった場合でも、同様に内蔵メモリーへ自動的に切り替えて録音します。（保存先メモリーは切り替えたままになりますのでご注意ください。

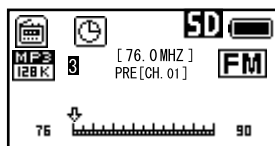
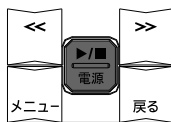
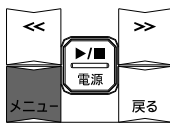
＜録音の各種設定＞

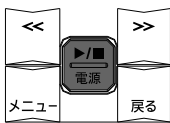
● 録音先メモリーの選択

録音先メモリーの選択はボイスモードの録音先メモリーの設定にて行います。78ページをご参照ください。

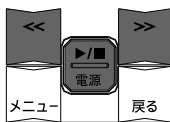
● 録音フォルダの選択

1 メインメニューが表示されている画面（P24参照）でラジオモードを選択して決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。

※他のモードが表示されている場合は“4ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

2 ラジオモードから“メニュー”ボタンを長押しすると下図のような画面に切り替わります。

3 “▶/■ 電源”ボタンを１回又は2回押すと録音フォルダ選択画面が表示されます。

SD
録音フォルダ
R3　R4

R3 ：RADIO3 フォルダ 3　　R4 ：RADIO4 フォルダ 4

※参考　1・・・VOICE フォルダ 1　　2・・・VOICE フォルダ 2

4 “ ≪・≫ ” ボタンで R3 又は R4 を 選択し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押して決定してください。

5 “設定を終了します” という画面が表示されますので “はい” を選択して“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押すとラジオモードに戻ります。

※オートプリセットを “ON” の状態で録音フォルダを選択してメ ニューボタンを押すと自動選局が開始されますのでご注意ください。

● 録音音質の設定

ラジオ録音音質の設定方法は 77ページ ボイスレコーダーの録音音質の設定方法と共通となりますので、そちらの内容 をご参照ください。

■ 録音したラジオを聴く

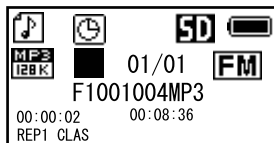
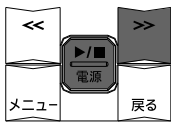
<録音したラジオをすぐに再生する>

● 再生 /停止する

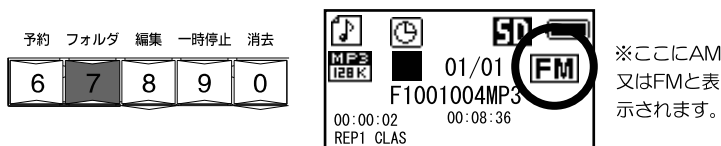
録音したラジオは音楽再生モードで聴くことが できます。

※ボイスモードのフォルダ 3 、4 でも聴くことができます。(P79参照)

1 メインメニューが表示されている画面 (P24 参照) で “音楽再生モード” を選択して決定ボタン (▶/■ 電源)を短押しします。音楽再生モ ードに切り替わります。

SD
MP3 128K 01/01 FM
F1001004MP3
00:00:02 00:08:36
REP1 CLAS

※他のモードが表示されている場合は、“ 1 再生” ボタンを長押ししてください。

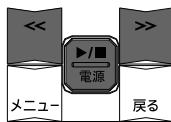
2 フォルダボタンを何回か長押しして目的のファイルがあるフォルダを表示します。※目的のフォルダがみつからない場合は、“P54録音したファイルを探す”を参照してください。

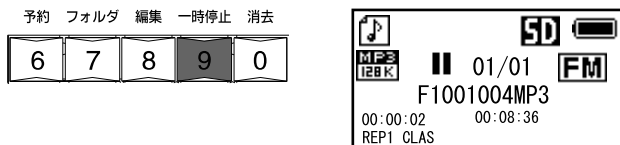
※ここにAM又はFMと表示されます。

※ラジオのフォルダは2つあります。ファイル名の先頭が“A”又は“F”で始まるファイルがラジオを録音したファイルです。

※詳しくは“P54”録音ファイルのファイル名について”を参照してください。

3 “≪・≫”ボタンでファイルを選択し、“▶/■ 電源”ボタンを短押しすると再生が始まります。再度押すと再生が停止します。

● 早戻し/早送り

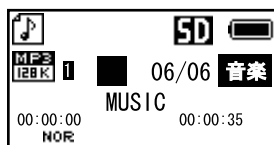
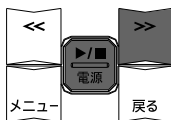
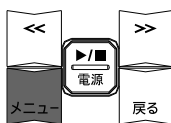
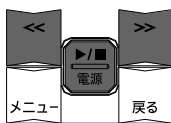
再生中に“≪・≫”ボタンを押し続けた分だけ早戻し、早送りになります。

● 一時停止

再生中に一時停止ボタンを短押しすると一時停止になります。

＜録音したファイルを探す＞

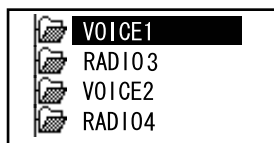
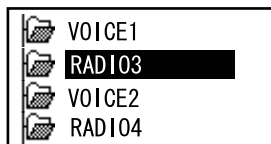
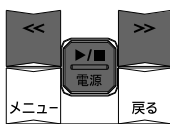
以下の手順で録音したファイルを探すことができます。

内蔵メモリー、マイクロ SD メモリーの切り替え
↓
フォルダの選択
↓
ファイルの選択

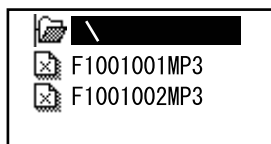
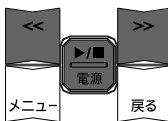
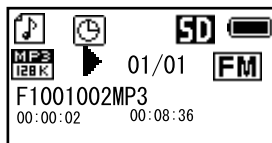
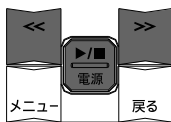
● 内蔵メモリー、マイクロＳＤメモリーの切り替え

1 メインメニューが表示されている画面 (P24 参照) で“音楽再生モード”を選択して決定ボタン(▶/■ 電源)を短押しします。音楽再生モードに切り替わります。

2 ラジオ録音ファイルの再生停止中に“メニュー”ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 再生したいラジオ録音ファイル のあるメモリーを“ << · >> ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”を短押しして 決定してください。

すぐに次項の“フォルダの選択”画面が表示されます。

● フォルダの 選択

1 メモリーを選択決定後に 下図のような画面になります。

2 ラジオ録音ファイルが保存されているフォルダはRADIO3（R3）とRADIO 4（R4）となります。“ ≪・≫ ” ボタンでを選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボ タンを押して決定してください。

すぐに次項の“ファイルの選択”画面が表示されます。

● ファイルの選択

1 フォルダを選択後にファイルの選択画面になります。

2 “ ≪・≫ ” ボタンで選択して “ ▶/■ 電源 ” を押すと下図の音楽再生画面になりますので再度、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを短押しすると再生を開始します。

<参考>録音ファイルのファイル名について

・音声録音ファイル

①録音音質
L：8kbps
S：32kbps
M：96kbps
H：128kbps

②記録年
③記録月
④通し番号

・ラジオ録音ファイル

①ラジオバンド
F：FM
A：AM

②記録年
③記録月
④通し番号

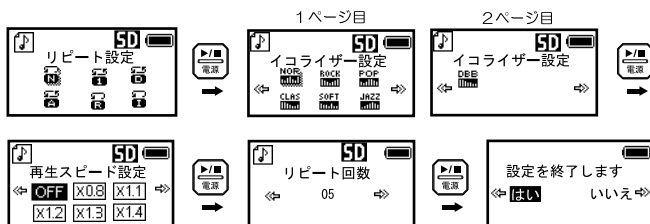
＜各種再生モードの設定＞

録音したラジオを再生中にメニューボタンを短押しすると再生モードの設定画面が表示されます。

※音楽の再生中も同様の画面が表示されます。

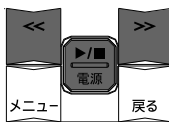
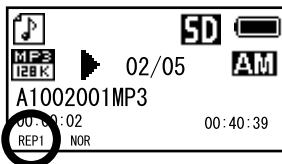
※再生メニューが表示されている場合、現在再生している曲は、その曲の最後で再生が停止します。再生メニューを閉じると再生を再開します。

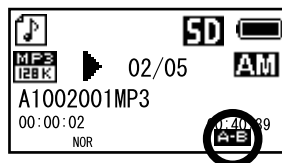
操作の流れ

下図のようにメニューが表示されている状態で“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押す度に設定した内容が保存され項目（画面）が切り替わります。設定の途中でも“メニュー”ボタンを押すと設定した内容が保存され元の再生中画面に戻ります。また、“設定を終了します”の画面で“はい”を選択すると設定したすべての項目の内容が保存され、元の再生中画面に戻ります。

● リピート再生

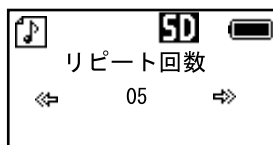
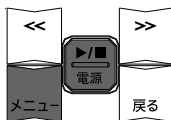
1 ラジオ録音ファイルの再生中に“メニュー”ボタンを短押しすると再生中メニューが表示されます。最初にリピート設定が表示されます。

：ノーマル再生　　：1曲リピート　　：フォルダリピート
：全曲リピート　　：ランダム再生　　：頭出し再生

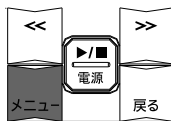
2 “ ≪・≫ ” ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンで決定 してください。

3 再度、 “メニュー” ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

● A-Bリピート再生

1 ラジオ録音ファイルの再生中に リピートしたいところで “ 2 A-B” ボタンを短押しすると 画面に “A-B” が表示され、 “B” が点滅します。

2 リピートの終了したいところでもう一度 “ 2 A-B ”を押すと“B”が点灯し、設定したA-B間を繰り返しリピートします。

● A-Bリピート 回数設定

1 ラジオ録音ファイルの再生中に“メニュー” ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に “ ▶/■ 電源 ” ボタンを３回押すとリピート回数設定画面になります。

2 数字ボタンでリピートしたい回数を入力して “▶/■電源” ボタンで決定してください。

※A-Bリピートの繰り返す回数を設定します。
1～99まで設定可能です。

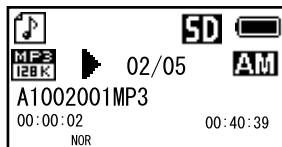
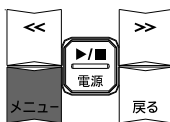
3 再度、“メニュー” ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

● イコライザー

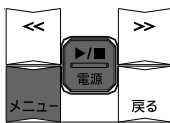
1 ラジオ録音ファイルの再生中に“メニュー”ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に “▶/■電源” ボタンを押すとイコライザー設定画面になります。
“ ≪・≫ ” ボタンで選択し、“▶/■電源” ボタンで決定してください。
※“JAZZ” を選択している状態で “ ≫ ” ボタンを押すと下図の２ページ目を表示します。再度 “ ≫ ” ボタンを押すと１ページ目に戻ります。

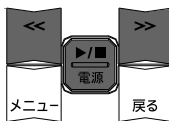
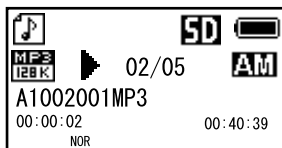
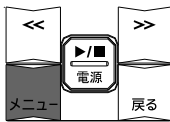
１ページ目　　２ページ目

イコライザーを設定します。

NOR：ノーマル　　ROCK：ロック
POP：ポップ　　CLAS：クラシック
SOFT：ソフト　　JAZZ：ジャズ
DBB：重低音

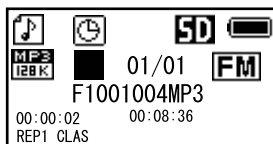
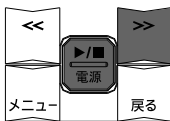
2 再度、“メニュー”ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

● 再生スピード設定

1 ラジオ録音ファイルの再生中に“メニュー”ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に“▶/■ 電源”ボタンを２回押すと再生スピード設定画面になります。

OFF：通常再生
×0.8：通常の約 0.8 倍のスピードで再生
×1.1：通常の約1.1倍のスピードで再生
×1.2：通常の約1.2倍のスピードで再生
×1.3：通常の約1.3倍のスピードで再生
×1.4：通常の約1.4倍のスピードで再生

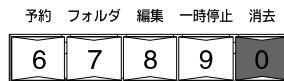
2 “ << · >> ”ボタンで選択し、“▶/■ 電源”ボタンで決定してください。

3 再度、“メニュー”ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

＜ファイルの削除＞

ボイスモードでも削除することができます。（音楽ファイルはボイスモードでは削除できません。）P８５参照

● ファイルを1つ削除

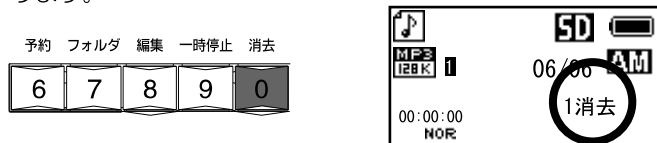
1 メインメニューが表示されている画面（P24 参照）で“音楽再生モード”を選択して決定ボタン（▶/■ 電源）を短押しします。音楽再生モードに切り替わります。

※他のモードが表示されている場合は、“ 1 再生”ボタンを長押ししてください。

2 削除したいファイルを“ ≪・≫ ”ボタンまたは“数字”ボタンで選択し、“ 0 消去”ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 画面に“ 1 消去”と点滅し、再度“ 0 消去”ボタンを短押しすると削除されます。

4 削除をキャンセルする場合は、“戻る”又は“再生/停止”ボタンを押してください。

● フォルダ内の全てのファイルを削除

1 “ 1 再生 ”ボタンを長押しすると 音楽再生 モードになります。

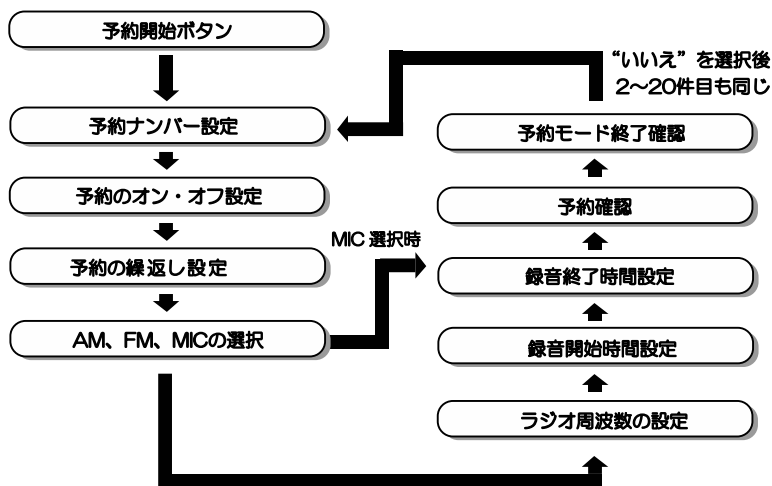
2 削除したいファイルを“ << ・ >> ”ボタンまたは“数字”ボタンで選択し、“ 0 消去”ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 “ >> ”ボタンを押すと画面に“全消去”が表示されます。

4 再度“ 0 消去”ボタンを短押しするとフォルダ内のファイルがすべて削除されます。

※削除されたファイルは元に戻すことはできませんので削除する前に十分に確認してから削除するようにしてください。

6．ラジオの予約録音

■ 操作の流れ・・・・P63
■ 予約設定時の注意事項・・・・P64
■ ラジオの予約録音を開始する・・・・P65

■ 操作の流れ

<ご注意>

● ラジオの予約録音を始める前に、必ず時計の設定を確認してください。時刻がきちんと合っていないとラジオの番組が 正しく録音できませんので注意してください。

● 本製品は録音中に電池がなくなったり、電池を抜いたりすると現在、録音中のデータは保存されず消えてしまいます。予約録音を設定する時は、新しい電池に変更するか、又はACアダプターをご使用いただくことをおすすめいたします。

● ボイス (MIC) の予約録音は 5 件までとなります。(予約番号 "1" ～ "5" に設定します)

● メインメニューが表示されている状態では予約録音が開始されませんのでご注意ください。

■ 予約設定時の注意事項

何度もうまくいかない場合は要チェック!!

現在時刻は合っていますか？
3 時計ボタンを **長押し** すると、現在 時刻を表示します。
P28、30 の 日付、時刻の設定 をよく読 んで設定してください。

AM、FM、周波数は合っていますか？

メモリがいっぱいになっていませんか？

ラジオはきちんと受信できていますか？

電池の残量が少なくなっていませんか？

日をまたぐ予約は２つに区切ります。
例えば、12/24 20:00～12/25 8:00の場合
①12/24 20:00～23:59　②12/25 0:00～8:00
というように予約録音します。

予約の際は録音音質　（音質8kbps、32kbps、96kbps、128kbps）の設定は出来ません。事前に設定します。
※96kbps、又は128kbpsで録音することをおすすめします。

大事な録音は開始時刻を少し早めに予約することをおすすめします。
本機の性能上、録音始めの数秒間録音されない場合があります。

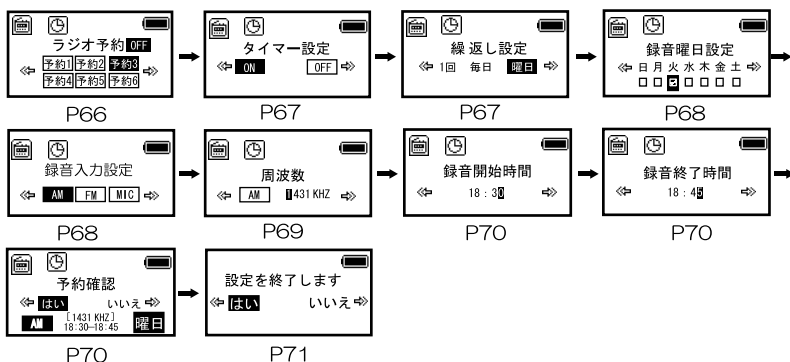
連続した時刻の予約はできません。
予約①：9:00～10:00　予約②：10:00～11:00
予約②は10:01から設定可能となります。

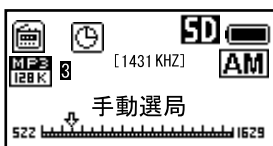
メインメニューが表示されていませんか？
メインメニューが表示されていると予約録音が開始されません。

■ ラジオの予約録音を開始する

本製品には、録音開始時刻、録音終了時刻などの条件を指定して ラジオやボイスの予約 録音することができます。
※ここでは例としてAM1431KHZの放送局を予約設定します。

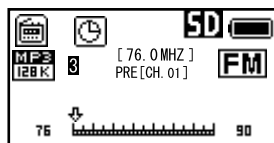
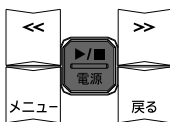
<予約モード画面の流れ>

下記のように“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押す度に画面が切り替わります。

<予約録音したいラジオ放送局を事前に表示させる>

P48～を参考にしてあらかじめ 予約したい放送局を画面に表示します。

※ここで表示させた放送局が予約の周波数に自動的に設定されます。

＜予約モードへの切り替え＞

1 メインメニューが表示されている画面（P２４参照）でラジオモードを選択して決定ボタン（▶/■ 電源）を短押しします。ラジオモード画面に切り替わります。

※他のモードが表示されている場合は“ 4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

2 AM に切り替える場合は、“ 4 ラジオ”モードボタンを長押ししてください。

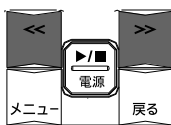
3 “ 6 予約”ボタンを長押しすると 画面が切り替わり、予約設定を開始します。

予約設定の一例

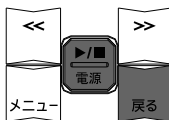
予約番号：３
繰返し設定：火曜日を毎週繰返し
ラジオ放送局：AM1431KHZ
録音開始時刻：18：30
録音終了時刻：18：45

＜予約番号の設定＞

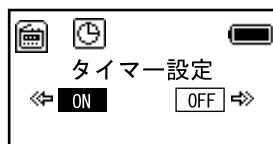
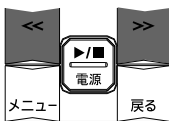
例として予約番号“3”を設定します。

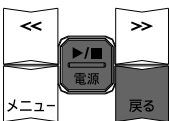
1 予約モードに切り替わると下図のように予約番号設定画面が表示されます。“<<・>>”ボタンで“予約3”を選択します。

※ボイスレコーダーの予約は“予約1”～“予約5”のみの設定となりますのでご注意ください。

※予約モードに切り替わった直後は予約の空き番号へ自動的にカーソルが移動します。

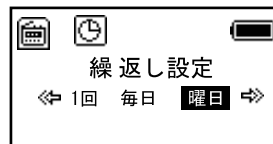
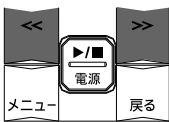
2 "▶/■ 電源" ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は"戻る"ボタンを押します。

※ボイス(MIC)の予約録音は予約番号"1"～"5"に設定してください。予約番号"6"～"20"には設定できませんのでご注意ください。

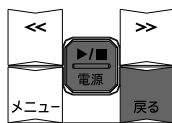
<タイマー設定>

1 タイマー設定画面が表示されている状態で"≪・≫"ボタンで"ON"に設定します。

※OFFにした場合、時刻等を設定しても予約した内容は実施されませんので、ご注意ください。

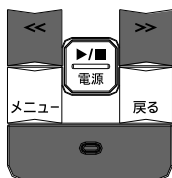
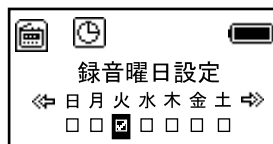
2 "▶/■ 電源" ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は"戻る"ボタンを押します。

<繰返し予約の設定>

例として"曜日"を選択する場合

1 繰返し設定画面が表示されている状態で"≪・≫"ボタンで"曜日"を選択します。

1回 ：1回のみ予約録音を実施します。
毎日 ：予約した内容を毎日実施します。
曜日 ：指定した曜日のみ繰返し予約を実行します。

2　“ ▶/■ 電源 ”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<繰り返したい曜日の設定>

前項の繰り返し予約の設定で“曜日”を選択した場合

1　例として“火曜日”を設定する場合、設定 画面が表示されている状態で“ ≪・≫ ”ボタンで“火曜日”を 選択し、“録音/停止”ボタンを押して“ ✓ ”を入れます。

録音／停止

複数の曜日を選択したい場合は設定したい曜日にすべて“ ✓ ”をいれます。

※以前の予約の設定で“繰返し設定”を“毎日”に設定していて、今回、“曜日”に変更した場合、すべての曜日にチェックが入りますのでご注意ください。

2　“ ▶/■ 電源 ”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<録音入力設定>

1　録音入力設定 画面が表示されますので予め呼び出した放送局を変更しない場合はそのままの状態（例では“AM”）で次に進みます。変更する場合は“ ≪・≫ ”ボタンで“FM”又は“MIC”を選択します。

※“MIC”を選択した場合はボイスレコーダーモードで予約録音を設定します。（音声録音）

AM：AMラジオ　　FM：FMラジオ　　MIC：ボイスレコーダー
※ボイスレコーダーを選択した場合、この後の周波数設定は必要がありません。
※マイク端子にラインケーブルを接続していた場合は端子に接続した音源を録音します。マイクからは録音されませんので、ご注意ください。（ボイスレコーダーモードの録音入力設定を事前に“LINE”に設定しておいてください。）
※P76 録音入力設定を参照してください。

2 “▶/■ 電源”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

＜放送局（周波数）の設定＞

下図のように周波数設定 画面が表示されますので予め呼び出した放送局を変更しない場合はそのままの状態(例では1431KHZ)で“▶/■ 電源”ボタンを押します。変更する場合は、数字ボタンで直接周波数を入力し、“▶/■ 電源”ボタンを押します。

＜予約の開始時間の設定＞

例として“18:30”を設定する場合
録音開始時間 画面が表示されている状態で 数字ボタン“1”“8”“3”“0”と入力し、“▶/■ 電源”ボタンを押します。

＜予約の終了時間の設定＞

例として“18:45”を設定する場合

録音終了時間 画面が表示されている状態で 数字ボタン“1”“8”“4”“5”と入力し、“ ▶/■ 電源 ”ボタン を押します。

＜予約の最終確認＞

特に変更がない場合は“はい”を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタン を押します。これで予約の設定は完了です。“いいえ”を選択した場合、予約はキャンセルされます。

※予約設定の途中で“メニュー”ボタンを押すと予約はセットされず元のラジオモード画面に戻ります。

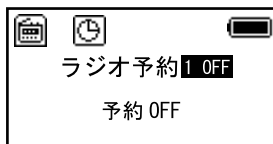
※予約の最終確認中に内容を変更したい場合は“戻る”ボタンを押して変更したい項目まで戻ってください。

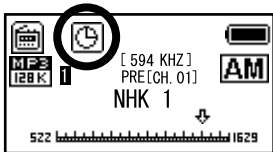
＜予約モード終了確認＞

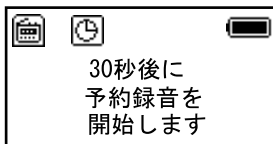
次に下図のように画面が表示されますので続けて予約したい場合は“いいえ”を選択し“▶/■ 電源”ボタンを押してください。(P66“予約番号の設定”画面に戻ります）予約モードを終了する場合は“はい”を選択して“▶/■ 電源”ボタンを押してください。元のラジオモード画面に戻ります。

＜予約の詳細（状態）を表示する＞

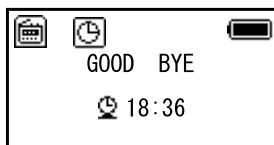
P66“予約番号の設定”画面で“≪・≫”ボタンを押して予約番号を選択します。“録音 / 停止”ボタンを短押しすると選択した予約番号の詳細（状態）を約３秒間下図のように表示します。

※予約がオフの場合、画面に下図のように“予約 OFF”と表示されます。

＜予約アイコン表示＞

予約が完了するとラジオモード画面で予約アイコンが点灯します。

<ラジオ聴いている時の予約録音開始について>

ラジオを聴いている時に予約録音が開始される場合､下図の画面が表示され録音待機状態となります。

※予約録音中に“録音/停止”ボタンを押すと録音は停止され、保存されます。

<電源オフ時の予約録音開始について>

本機は電源オフの状態でも予約が設定されている場合、自動的に電源がオンになり予約録音が開始されます。
電源をオフにした時、切れる直前の画面で下図のように一番早い予約時間が画面に表示されます。

※電源オフ時の注意事項
本機の電源オフ時は電池残量に注意してください。電源をオフにしても電池は消耗します。電池の残量が少ない場合、予約が開始されない場合がありますのでご注意ください。予約録音時はACアダプターのご使用をおすすめいたします。

<予約録音の終了時について>

本機は予約録音が終了すると自動的に電源がオフとなります。

<予約をオフにする>

セットした予約をオフにする場合はP67“タイマー設定”で“OFF”に設定後、P70“予約確認”の画面まで移動して“はい”を選択するか、またはP66“予約番号の設定”画面で予約をオフにしたい番号へ“≪・≫”ボタンでカーソルを移動して“0 消去”ボタンを長押ししてください。下図のように“ON”から“OFF”に切り替わります。

予約がONの状態　　予約がOFFの状態

※予約の“オフ”設定は予約番号一つづとなります。

7. ボイスレコーダー（音声を録音・再生する）

■ 本機をボイスレコーダーとして使う・・・・P74

■ フォルダの切り替え・・・・P74

■ 録音する・・・・ P74

録音する・・・・P74

一時停止する・・・・P75

停止して保存する・・・・P75

録音の各種設定・・・・P76

いろいろな録音・・・・P78

■ 再生する・・・・ P79

再生するファイルの選択・・・・P79

再生・停止する・・・・P79

一時停止する・・・・ P80

早戻し/早送り・・・・ P80

再生中ファイルの情報表示・・・・P80

再生の各種設定・・・・ P81

リピート再生・・・・ P81

A-Bリピート再生・・・・P82

A-Bリピート回数設定・・・・P83

イコライザー・・・・P83

再生スピード設定・・・・P84

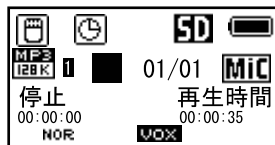
ファイルの削除・・・・P85

ファイルを1つ削除・・・・P85

すべてのファイルを削除

・・・・・P86

■ 本機をボイスレコーダーとして使う

簡単に本機をボイスレコーダーとして使用することができます。P24を参照してメインメニューからボイスレコーダーモードに切り替えます。
※他のモードが表示されている場合は“5 ボイスボタン”を長押ししてください。

■ フォルダの切り替え

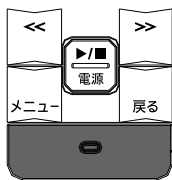
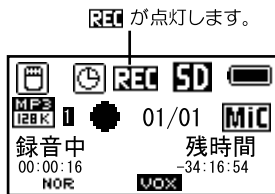
ボイスモードが表示されている状態で“7フォルダ”ボタンを長押しするとフォルダの切り替えが できます。

❶、❷、❸、❹

※フォルダは４つあります。❶～❹ はすべて音声録音が可能です。❸、❹はラジオ録音ファイルも保存されます。

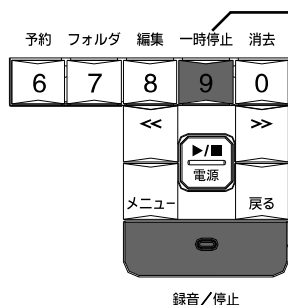
■ 録音する

<録音する>

下図のようにボイスモード画面が表示されている状態で“録音/停止”ボタンを短押しすると、録音が開始します。

※録音中に電池がなくなったり、電池を抜いたりすると、現在録音中のデータは保存されずに消えてしまいます。電池残量が少なくなった時は、早めに現在の録音を保存し、新しい電池 に取り替えるようにしてください。

※本機にマイクロSD、マイクロSDHCカードが挿入されている場合、録音中に内蔵メモリーの空き容量がなくなると録音を停止して保存し、自動的に録音先メモリーをマイクロSD、マイクロSDHCカードに切り替えて録音を再開します。
また、最初にマイクロSD、マイクロSDHCに録音していて空き容量がなくなった場合でも、同様に内蔵メモリーへ自動的に切り替えて録音します。（保存先メモリーは切り替えたままになりますのでご注意ください。

<一時停止する>

録音中に 9 一時停止ボタンを短押しすると、録音を一時停止します。
再度、9 一時停止ボタンを短押しすると、録音を再開します。

<停止して保存する>

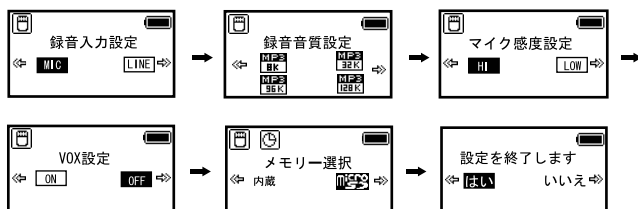
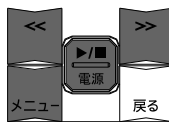
録音中に録音/停止ボタンをもう一度短押しすると、録音を停止しデータを保存します。

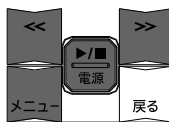
※録音音質設定 (P77 参照) が 8kbps の場合、録音開始直後約 5 秒間は録音 / 停止ボタンを押しても保存ができませんのでご注意ください。

＜録音の各種設定＞

ボイスレコーダーモードが表示されている状態で“メニュー”ボタンを長押しすると録音入力設定画面に切り替わります。“ ≪・≫ ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンで決定すると次の設定項目に進みます。再度“メニュー”ボタンを短押しすると元の画面に戻ります。

操作の流れ

下図のようにメニューが表示されている状態で“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押す度に設定内容が保存され項目（画面）が切り替わります。設定の途中でも“メニュー”ボタンを押すと前項までの 設定した内容が保存され、元のボイスレコーダーモード画面に戻ります。また、“設定を終了します”の画面で“はい”を選択すると設定したすべての項目の内容が保存され、元のボイスレコーダーモード画面に戻ります。

● 録音入力設定

※MIC：内蔵マイクからの音声を録音します。
（マイク端子にケーブルを接続していた場合は端子に接続した音源を録音します。内蔵マイクからは録音されませんので、ご注意ください。）
LINE：外部マイク端子に接続した音源を録音します。

● 録音音質設定

※ 8K：長時間録音におすすめですが、低音質です。

32K：こちらも長時間録音におすすめですが、８Kよりも高音質です。音声録音におすすめです。

96K：標準録音です。ラジオの録音にはおすすめです。

128K：CDに近い音質で録音することが可能です。ラジオやライン録音には最適な設定です。

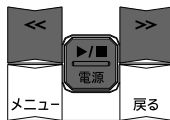
録音音質画面から“ ≪・≫ ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”で決定すると次の設定項目に進みます。

● マイク感度設定

本製品には内蔵マイクの感度をHIとLOWに切り替えることができます。小さな音や遠くの音を録音したい場合は、マイクの感度を変更してください。

HI 感度 ：会議や講義内容の録音　　LOW 感度 ：通常録音用

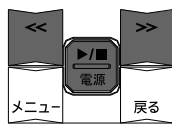
マイク感度 は、次の手順で切り替えます。

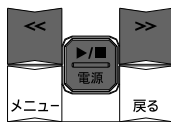
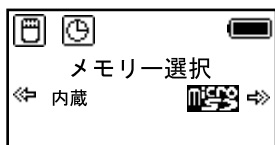
マイク感度設定画面から“ ≪・≫ ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”で決定 すると次の設定項目に進みます。

● ＶＯＸ設定

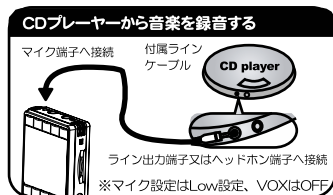
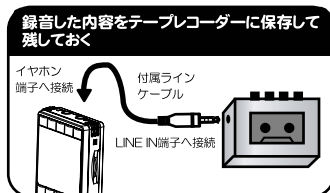
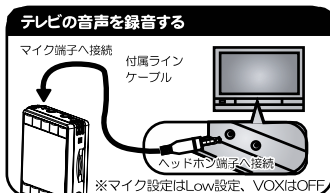
本製品にはVOX機能が搭載されており、一定音量以上の音を感知して自動的に録音を開始/一時停止することができます。

会議中の発言のみ録音したいときなどに便利です。

※一番最初の録音開始時及び録音停止(保存)時は“録音/停止”ボタンを押す必要がありますのでご注意ください。
※録音 / 停止ボタンを押した直後が一時停止状態の場合、録音 / 停止ボタンを押しても保存されません。(録音データがないため)
※録音音質設定 (P77 参照) が 8kbps の場合、録音開始直後約 5 秒間は録音 / 停止ボタンを押しても保存できませんのでご注意ください。

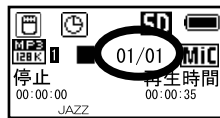
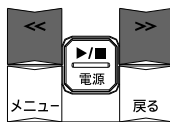
VOX機能は、次の手順で設定します。
VOX設定画面から“ ≪・≫ ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”で決定 すると次の設定項目に進みます。

● メモリー選択

録音先のメモリーを選択します。
メモリーの選択は 、次の手順で設定します。
メモリーの選択画面から“ ≪・≫ ”ボタンで選択し、“ ▶/■ 電源 ”で決定 してください。

＜いろいろな録音＞

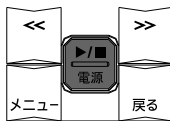
付属のラインケーブルや別売のマイク（市販品）を使って、いろいろな録音が出来ます。

■ 再生する

<再生するファイルの選択>

1 ボイスモードが表示されている状態で “7フォルダ” ボタン を長押ししてフォルダを選択します。“7フォルダ” ボタンを押す度に1→2→3→4→1 ・・・・と切り替わります。

2 “ << ・ >> ” ボタンで再生したいファイルを選択します。

※数字ボタンの短押しで 直接ファイルを選択することも可能です。例ファイル番号7の場合、“0” 、“7” と入力します。

<再生・停止する>

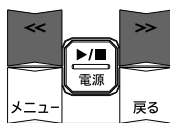
1 ファイル選択後、“ ▶/■電源 ”ボタンを短押しすると、再生を開始します。

2 再生中に “ ▶/■電源 ”ボタン を短押しすると再生を停止します。再度、“ ▶/■電源 ”ボタン を短押しすると、先程、停止した途中から再生を開始します。

＜一時停止する＞

再生中に一時停止ボタンを短押しすると、再生を一時停止します。再度、“▶/■ 電源”ボタンを短押しすると、再生が始まります。

※停止と一時停止の違いについて
停止と一時停止の状態は同様となりますが、一時停止中は自動電源オフ機能が働かず電源が入ったままとなります。

＜早戻し/早送り＞

音声ファイルの再生中に操作ボタンの“ << ”押すと押している間のみ早戻しします。音声ファイルの再生中に操作ボタンの“ >> ”押すと押している間のみ早送りします。

＜再生中ファイルの情報表示＞

音声ファイルの再生中 、“録音/停止”ボタンを短押しする度に画面に下図のように記録日 、ファイル名が次々に表示されます。

※上記の表示の見方

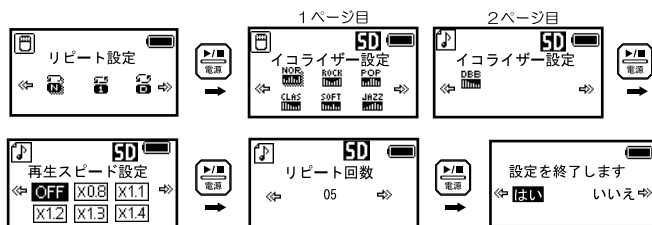
10Y01M01D
2010年 1月 1日

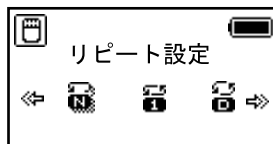
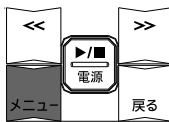
＜再生の各種設定＞

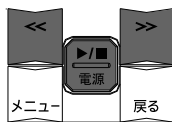
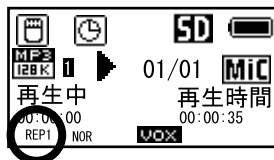
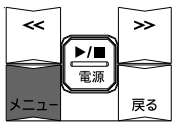
録音したボイスを再生中にメニューボタンを短押しするとボイス再生モードの設定画面が表示されます。

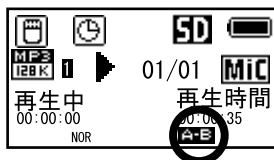
※再生メニューが表示されている場合、現在再生しているファイルはそのファイルの最後で再生を停止します。再生メニューを閉じると再生を再開します。

操作の流れ

下図のようにメニューが表示されている状態で“ ”ボタンを押す度に設定内容が保存され項目（画面）が切り替わります。設定の途中でも“メニュー”ボタンを押すと前項までの 設定した内容が保存され、元のボイスレコーダーモード画面に戻ります。また、“設定を終了します”の画面で“はい”を選択すると設定したすべての項目の内容が保存され、元のボイスレコーダーモード画面に戻ります。

● リピート再生

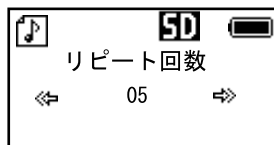
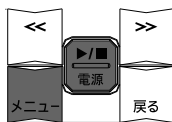
1 音声ファイル の再生中に“メニュー”ボタンを短押しすると再生中メニューが表示されます。最初にリピート設定が表示されます。

：1ファイルのみ再生
：1ファイルのみリピート再生
：フォルダ内のすべてのファイルをリピート再生
※フォルダーリピート、全曲リピート、ランダム再生はボイスレコーダーの再生時は選択出来ません。再生モード時のみ選択可能です。

2 “≪・≫”ボタンで選択し、“▶/■ 電源”ボタンで決定してください。

3 再度、“メニュー”ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

● A-Bリピート再生

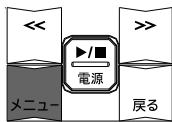
1 音声ファイルの再生中にリピートしたいところで“2 A-B”ボタンを短押しすると画面に“A-B”が表示され、“B”が点滅します。

2 リピートを終了したいところでもう一度“2 A-B”を押すと“B”の点滅が中止し、設定したA-B間を繰り返しリピートします。
A-Bリピートを解除する際は再度“2 A-B”ボタンを押すか、“▶/■ 電源”ボタン又は“メニュー”ボタンを押してください。

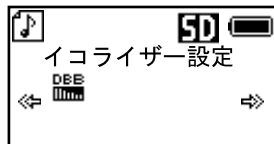
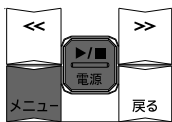
※次項で設定する回数分だけ繰り返します。

● A-Bリピート回数設定

1 音声ファイルの再生中に“メニュー”ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に“ ▶/■ 電源 ”ボタンを３回押すとリピート回数設定画面になります。

2 数字ボタンでリピートしたい回数を入力して“ ▶/■ 電源 ”ボタンで 決定 してください。

※A-Bリピートの繰り返す回数を設定します。1～99まで設定可能です。

3 再度、“メニュー”ボタンを押して ボイスレコーダーモード画面に戻ります。

● イコライザー

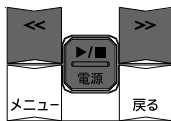
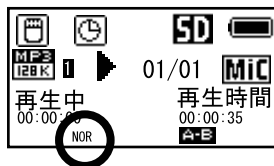
1 音声ファイルの再生中に“メニュー”ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押 すとイコライザー設定画面になります。

イコライザーを設定します。

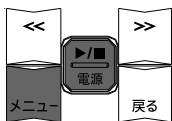
NOR：ノーマル　　ROCK：ロック

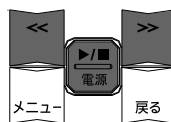
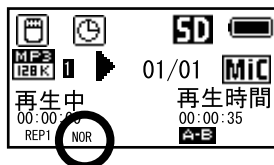
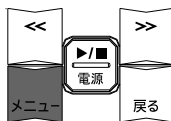
POP：ポップ　　CLAS：クラシック

SOFT：ソフト　　JAZZ：ジャズ

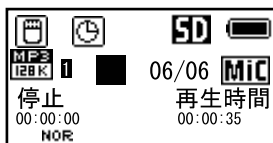
DBB：重低音

2 “ ≪・≫ ” ボタンで選択し、“ ▶/■電源 ” ボタンで決定してください。

3 再度、“メニュー” ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

● 再生スピード設定

1 音声ファイルの再生中に“メニュー” ボタンを短押しするとリピート設定画面に切り替わります。その後に “ ▶/■電源 ” ボタンを２回押すと再生スピード設定画面になります。

OFF：通常再生
×0.8：通常の約 0.8 倍のスピードで再生
×1.1：通常の約1.1倍のスピードで再生
×1.2：通常の約1.2倍のスピードで再生
×1.3：通常の約1.3倍のスピードで再生
×1.4：通常の約1.4倍のスピードで再生

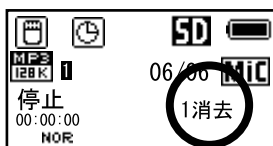
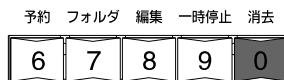
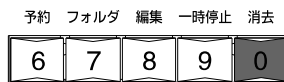
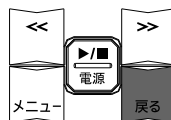
2 “ ≪・≫ ” ボタンで選択し、“ ▶/■電源 ” ボタンで決定してください。

3 再度、“メニュー”ボタンを押して再生モード画面に戻ります。

<ファイルの削除>

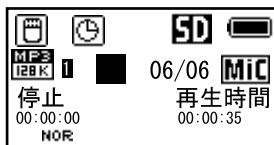
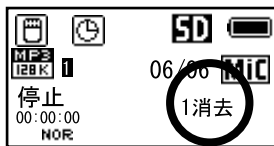
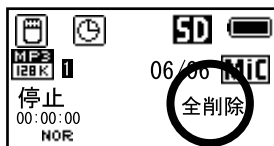
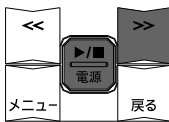
● ファイルを1つ削除

1 P 74“本機をボイスレコーダーとして使う”を参照してボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 削除したいファイルを選択し、“0消去”ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 画面に“1消去”と点滅し、再度“0消去”ボタンを短押しすると削除されます。

4 削除をキャンセルする場合は、“戻る”又は“再生/停止”ボタンを押してください。

はじめに
基本的な使い方
ラジオを聴く
ラジオの予約録音
ボイスレコーダー（音声を録音・再生する）
録音した内容編集する
パソコンで聞いたり、保存したりするには
音楽を聴く

● すべてのファイルを削除

1 P72“本機をボイスレコーダーとして使う”を参照してボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 削除したいファイルを選択し、“0 消去”ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 “ >> ”ボタンを押すと画面に“全削除”が表示されます。

4 再度、“0 消去”ボタンを短押しするとフォルダ内のファイルがすべて削除されます。

8．録音した内容を編集する

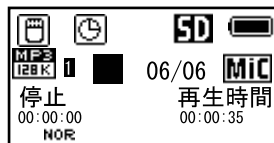
■ 編集可能なファイルについて・・・・P88
■ 録音したファイルを分割する・・・・P88
■ 録音したファイルの一部分を消去する・・・・P90

■ 編集可能なファイルについて

本製品には 録音したファイル の編集機能を搭載しています。すべての音声、ラジオ録音 ファイルを分割、一部消去できます。

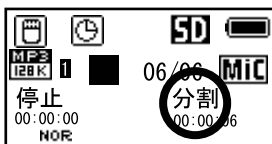
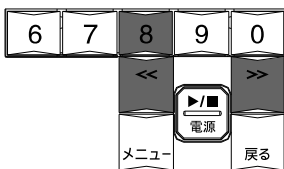
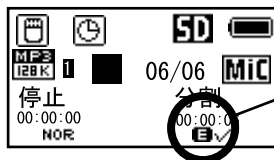
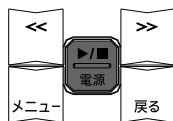
■ 録音したファイルを分割する

<ボイス録音ファイルを分割する>

1 P74“本機をボイスレコーダーとして使う”を参照してボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 “ 7 フォルダ”ボタンを長押しする度に 1→2→3→4→1・・・と切り替わりますので分割したいファイルが保存されているフォルダを選択してください。

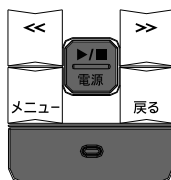
予約　フォルダ　編集　一時停止　消去

6　7　8　9　0

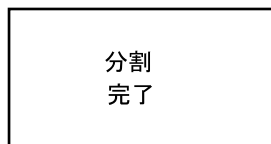
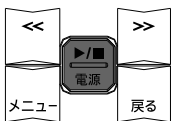
3 “ ≪・≫ ”ボタンで分割したいファイルを選択し、“ 8 編集” ボタンを長押しすると “分割” が点滅します。

4 “ ▶/■ 電源 ”ボタンを押して決定してください。

このアイコンが表示されていれば分割可能です。

5 再度、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを 押して音を聞きながら、分割したいポイントで“録音/停止”ボタン押すと下図の画面になります。

分割

YES

※分割をキャンセルする場合は“ <<・>> ”ボタンを押して“No”を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押してください。

6 “ ▶/■ 電源 ”ボタンを押して、しばらく経って“ 完了 ”が表示されると分割が完了です。
※分割後の後部分のファイルは一番最後のファイル番号に保存されます。

分割
完了

7 編集モードを中止して元のボイスレコーダーモードに戻る場合は再度、“ 8 編集 ”ボタンを長押ししてください。また、次の部分消去を実施する場合も、一度ボイスレコーダーモードに戻ってから再度、“ 8 編集 ”ボタンを長押ししてください。

<ラジオ録音ファイルを分割する>

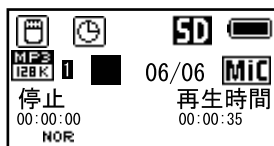
1 “5ボイス” ボタンを長押ししてボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 “7フォルダ”ボタンを長押す度にフォルダが 1→2→3→4→1・・・・と切り替ります。ラジオ録音ファイルはフォルダ 3 と4 に保存されていますので分割したいファイルが保存されているフォルダを選択してください。

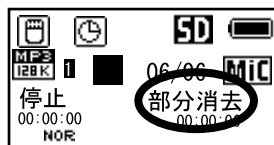
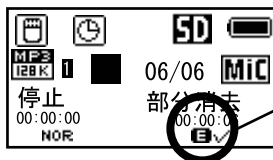
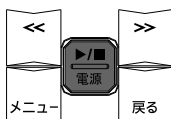
3 以降はボイス録音ファイルの分割と同様の操作となります。

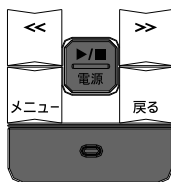
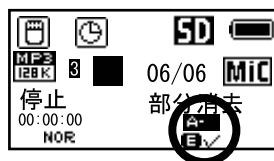
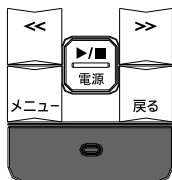
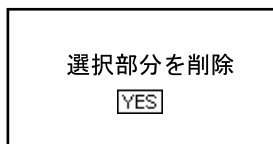
■ 録音したファイルの一部分を消去する

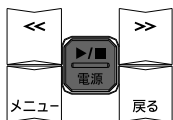
<ボイス録音ファイルを部分消去する>

1 P74 “本機をボイスレコーダーとして使う” を参照してボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 “7フォルダ” ボタンを長押しする度に 1→2→3→4→1 ・・・と切り替わりますので部分消去したいファイルが保存されているフォルダを選択してください。

予約 フォルダ 編集 一時停止 消去

3 “ ≪・ ≫”ボタンで 部分消去したいファイルを選択し、“ 8 編集” ボタン を長押しすると “分割” が点滅します。“ ≫ ” ボタンを押して “部分消去” が点滅します

4 “ ▶/■ 電源 ”ボタンを押して決定してください。

このアイコンが表示されていれば部分消去が可能です。

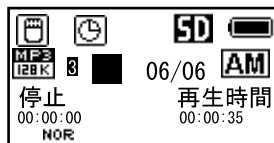
5 再度、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを 押して音を聞きながら、消去を開始したい地点で “録音/停止” ボタン押すと下図の画面になります。

録音／停止

6 消去の終了地点で “録音/停止” ボタンを押すと下図の画面になります。

※部分消去をキャンセルする場合“ ≪・≫ ”ボタンを押して“NO”を選択し、“ ▶/■ 電源 ”ボタンを押してください。

7 “▶/■ 電源”ボタンを押した後、しばらくして“完了”が表示されると部分消去は完了です。

選択部分を削除
完了

8 編集モードを中止して元のボイスレコーダーモードに戻る場合は再度、“8 編集”ボタンを長押ししてください。また、次の部分消去を実施する場合も、一度ボイスレコーダーモードに戻ってから再度、“8 編集”ボタンを長押ししてください。

<ラジオ録音ファイルを部分消去する>

1 “5ボイス” ボタンを長押ししてボイスレコーダーモードに切り替ります。

2 “7フォルダ”を長押す度にフォルダが 1→2→3→4→1 ・・・・と切り替ります。ラジオ録音ファイルはフォルダ 3 と4 に保存されていますので 部分消去したいファイルが保存されているフォルダを選択してください。

3 以降はボイス録音ファイルの部分消去と同様の操作となります。

9. パソコンで聞いたり、保存したりするには

■ パソコンとの接続、取り外し・・・・P94

■ 録音したラジオや音声をパソコンで
聞いてみる・・・・P96

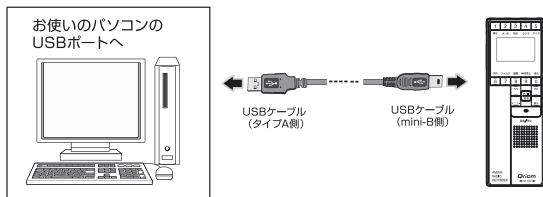
■ 録音したラジオや音声をパソコンに
保存する・・・・P98

■ 本製品をパソコンでフォーマット
(初期化)するには・・・・P100

■ パソコンとの接続、取り外し

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。

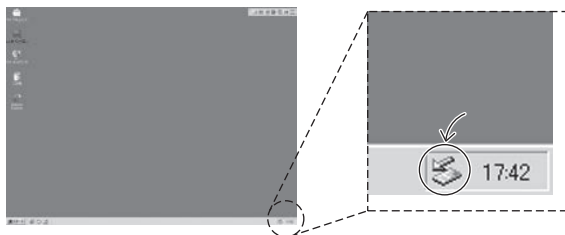
＜動作環境＞
Pentium 500MHz processor 以上
Windows XP/Vista/7/Mac OS X(Version10.2.6以上)

パソコンと接続するとハードウェア認識のメッセージが表示され、USBドライバーがインストールされます。USBドライバーがインストールされると、エクスプローラーのマイコンピュータの中にリムーバブルディスク（■：）が表示されます。

■はお客様のパソコンの環境によって異なります。

※説明はWindows XPの場合となります。

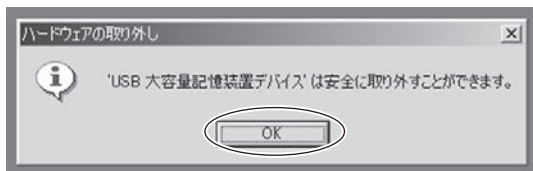
本機とパソコンの接続を解除する

本機をパソコンから安全に取り外すために以下の手順を必ず守ってください。

1 下記の画面の右下（タスクバーの通知領域）の"ハードウェアの安全な取りはずし"アイコンをクリックします。

2 下図のように表示されますので表示部分をクリックします。

表示はお客様のパソコンの環境によって異なります。

※画面はWindows XPでの表示です。

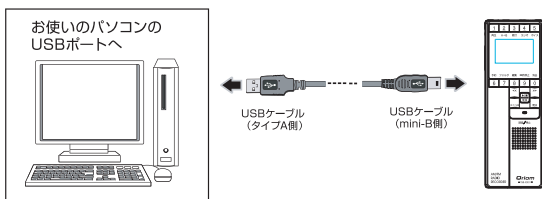
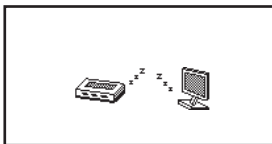
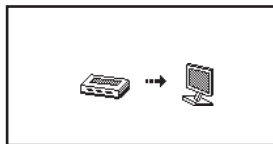
3 下記の画面が表示されたらOKをクリックします。

4 パソコンから本機を取りはずします。

⚠ご使用上の注意

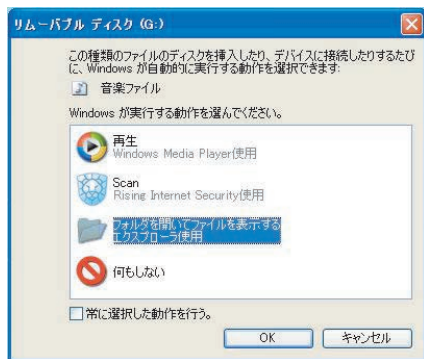
- 安全に本製品の取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因になることもあります。
- 本製品を間違った手順で取り外したことによるパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証いたしませんのでご了承下さい。
- 本機とパソコンが通信中の際は本機をパソコンから絶対に取り外さないで下さい。
- 前ページ **1** の表示がない場合は、パソコンとアクセスしていないことを確認して、本機を取り外してください。

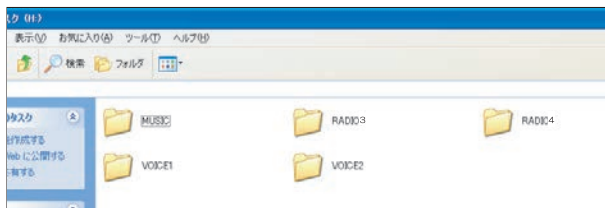
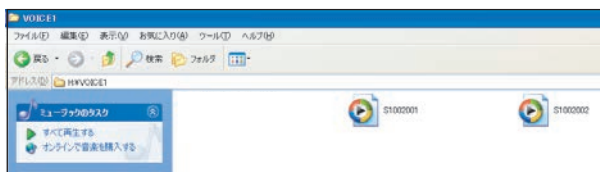
■ 録音したラジオや音声をパソコンで聞いてみる

1 本製品のUSB端子とパソコンのUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。

2 画面 が切り替ります 。

パソコンと接続中の画面

※この時は本機をパソコンから取り外すことができます。

パソコンとの通信中の画面

3 デスクトップに以下のような画面が表示されます。

※表示はパソコンの使用環境によって異なります。
表示されない場合があります。

4 “OK” をクリックしてください。下図のような画面が表示されます。

5 音声録音ファイルは “VOICE1” と “VOICE2”、ラジオ録音ファイルは “RADIO3” と “RADIO4” 4つのフォルダがあるので、聞きたいファイルが保存してあるフォルダをクリックします。

6 再生したい録音ファイルをダブルクリックするとパソコンのソフトが立ち上がり、再生が開始されます。（パソコンの環境により動作が異なります）

<参考>録音ファイルのファイル名について

・音声録音ファイル

L 1 0 0 2 0 0 1

① ② ③ ④

①録音音質
L：8kbps
S：32kbps
M：96kbps
H：128kbps

②記録年
③記録月
④通し番号

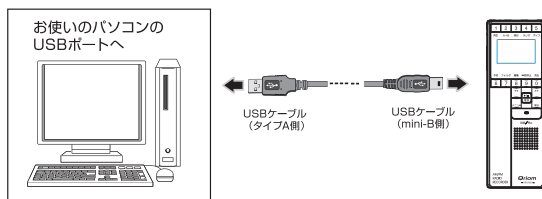
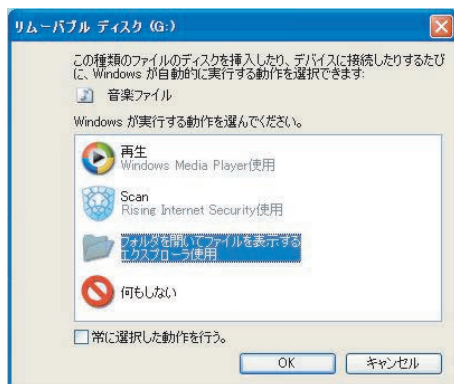
・ラジオ録音ファイル

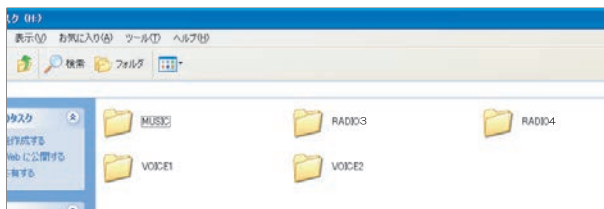
①ラジオバンド
F：FM
A：AM

②記録年
③記録月
④通し番号

■ 録音したラジオや音声をパソコンに保存する

本製品で音声を録音してメモリーが一杯になってしまった場合や、残しておきたいファイルなどがある場合、本製品のファイルをパソコンに保存することができます。

1 本製品のUSB端子とパソコンのUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。

2 パソコンにリムーバブルディスクとして認識されたことを確認します。（確認するにはマイコンピュータを開いてフォルダを表示します）デスクトップに以下のような画面が表示されます。

※表示はパソコンの使用環境によって異なります。又、本機にマイクロSDカードが挿入されている場合、リムーバブルディスクは2つ表示されます。（リムーバブルディスクのアルファベットの若い順に内蔵メモリ、マイクロSDカードとなります。

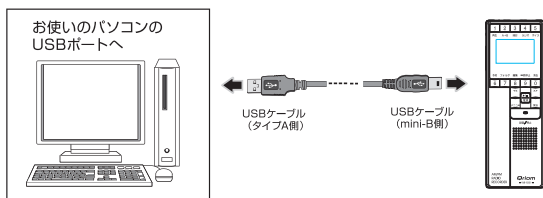
3 “OK”をクリックしてください。下図のような画面が表示されます。

4 音声録音ファイルは“VOICE1”、“VOICE2”、ラジオ録音ファイルは“RADIO3”、“RADIO4”の合計4つのフォルダがあるので、パソコンに保存したいフォルダ又はファイルを直接マウスの左クリックでドラッグ（左ボタンを押したままにすること）し、そのままデスクトップ上に任意の場所でドロップ（左ボタンを離すこと）してください。

5 コピーが開始されますので、終了するまではパソコンと本製品のUSBケーブルを絶対に抜かないようにご注意ください。誤って抜いてしまった場合、本機に保存されている元のデータが破損してしまうことがありますので、くれぐれもご注意ください。

6 以上でデスクトップ上に選択したフォルダやファイルの内容が保存されました。

■ 本製品をパソコンでフォーマット（初期化）するには

お手持ちのパソコンを使用して本製品の内蔵メモリーをご購入前の状態に戻すことができます。
※本機のホールドスイッチをオフにしてください。

1 パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。

2 パソコンに接続が完了したら、コンピュータ（マイコンピュータ）の中にあるリムーバブルディスクを探します。

3　ここからはお客様の環境により異なりますので十分に注意して作業を行ってください。本製品の内蔵メモリーに該当するリムーバブルディスクを右クリックします。

4　メニューが表示されフォーマットを左クリックします。

5　フォーマットのウィンドウが開きますので開始をクリックします。しばらくするとフォーマットが完了します。

はじめに
基本的な使い方
ラジオを聴く
ラジオの予約録音
ボイスレコーダー（音声を録音・再生する）
録音した内容編集する
パソコンで聞いたり、保存したりするには
音楽を聴く

⚠ ご注意

フォーマットを実行すると、メモリーに保存されていたファイル、データは全て消去されます。元に戻すことは できませんので 実行する際は十分に注意して行ってください。
また、実行する前にパソコンのハードディスクなどにバックアップすることをお勧めいたします。ホールドスイッチをオンの状態にして、パソコンに接続した場合、パソコンでのフォーマットはできませんので、ご注意ください。ホールドスイッチをオフにしてパソコンに接続してください。

10. 音楽を聴く

■ パソコンからＭＰ３音楽を取り込む・・・・P104

（メディアプレーヤーの使い方）

Windows　XPの場合・・・・P104

Windows　Vitaの場合・・・・P109

Windows 7の場合・・・・P113

■ パソコンから取り込んだ音楽を聴く・・・・P117

MUSICフォルダの選択・・・・P117

音楽を聴く・・・・P118

■ ファイルの削除・・・・P119

ファイルを1つ削除・・・・P119

フォルダ内のすべてのファイルを削除

・・・・P120

■ パソコンからＭＰ３音楽を取り込む

Windows®XPの場合

⚠ご使用上の注意

本機はDRM（ダウンロードライセンス付）ファイル等には対応しておりませんので、インターネット上の有料音楽配信サイト等からデータを取り込むことはできません。お手持ちの音楽データを本機に取り込んで再生してください。
楽曲等の本機へのダウンロードはお客様個人で楽しむ以外著作権法上、権利者の許諾なく使用することは禁じられています。
本機を使用中、万一何らかの不具合によって録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。

MP3音楽を取り込む

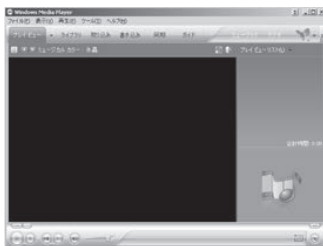
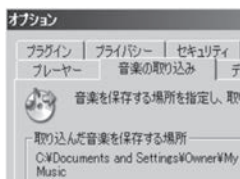
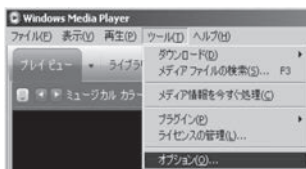
■MP3音楽ファイルの本機への転送

例）Windows®Media Player 10series/音楽CDアルバム名：TESTを使用した場合の転送方法です。

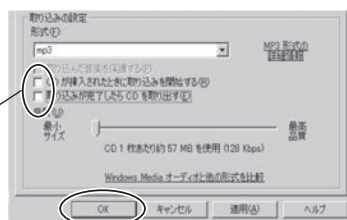
⚠本例は参考です。詳しい方法はご使用されているパソコンの取扱説明書に従ってください。

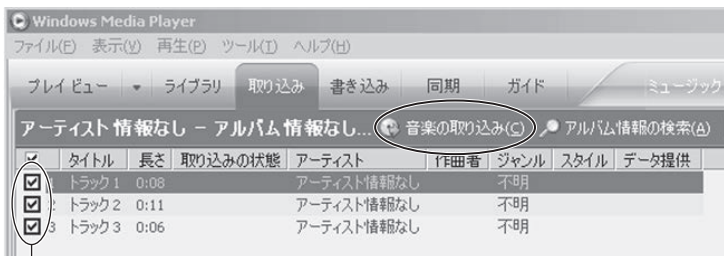
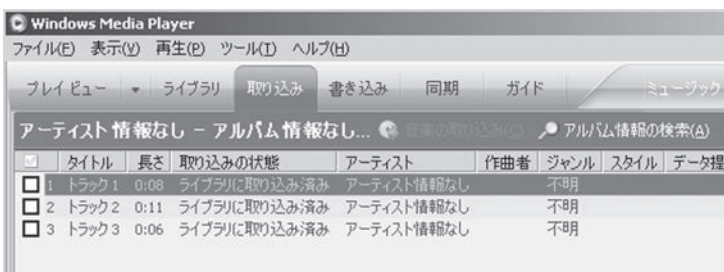
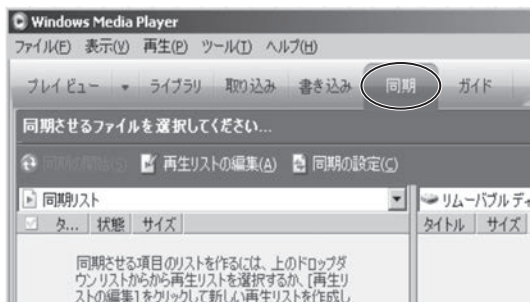
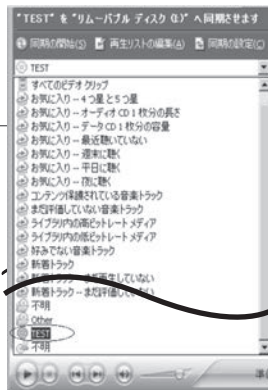
1 付属のUSBケーブルを使って本機をパソコンのUSB端子に接続します。（「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照）

2 パソコンのWindows® Media Player 10series（以下、メディアプレーヤー）を立ち上げると、次の画面が表示されます。

⚠ お客様のパソコンによってはメディアプレーヤーを立ち上げたときの画面が本説明と異なる場合があります。

3 メディアプレーヤーの″ツール″→″オプション″→″音楽の取り込み″を選択します。

4 形式の項目で″mp3″を選択します。

5 チェックボックスのチェックを２つとも外し、″OK″をクリックします。

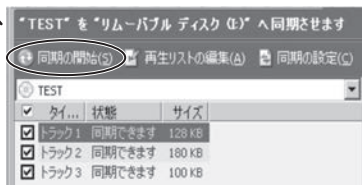
チェックボックスを外す

6 メディアプレーヤーの″取り込み″を選択します。

7 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブへ挿入するとタイトルが画面に表示され、音楽が自動的に再生されます。録音したいタイトルにチェックを入れたら、〝音楽の取り込み〟ボタンを押します。

8 全ての取り込みが完了すると、下図の画面が表示されます。

9 メディアプレーヤーの〝同期〟をクリックします。

10 同期をするアルバムをクリックして選択します。

11 アルバムを開き、音楽タイトルが表示されます。本機へ転送したい音楽タイトルをチェックします。

12 転送先のデバイスを本機″リムーバブルディスク（G：）″に設定します。
⚠（（G：）はお客様のパソコンの環境によって異なります）

参考
本機にマイクロSDカードが挿入されている場合､リムーバブルディスクは2つ 表示されます｡(リムーバブルディスクのアルファベットの若い順 に内蔵メモリ、マイクロSDカードとなります。

※SDカードが本体に入っていない場合は外部メモリーは表示されません。

13 〝同期の開始〝ボタンを押すと、転送が開始されます。

14 下図のような画面になれば転送は完了です。

15 パソコンから本機を取り外します。（「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照）これで音楽を聴く準備が整いました。

Windows®Vistaの場合

例）メディアプレーヤー11を使用した場合の転送方法です。

⚠ 本例は参考です。詳しい方法はご使用されているパソコンの取扱説明書に従ってください。

1 音楽CDをパソコンのCDドライブに入れて、Windows® Media Player11を起動します。

2 取り込みボタンをクリックして取り込み画面を表示させます。

3 取り込みボタンの下の〝▼〞をクリックします。〝形式〞をクリックして、その中の〝MP3〞を選択しチェックを入れます。

続いてビットレートを設定します。数値が高ければ高いほど高音質で取り込みが出来ますが、保存容量が大きくなります。推奨128kbpsです。

4 〝その他のオプション〞を選択します。

5 チェックボックスのチェックを外し、″OK″をクリックします。

6 録音設定が終わったら、パソコンに取り込みたい曲をチェックします。チェックを外した曲は取り込みません。

7 ″取り込みの開始″ボタンをチェックし、取り込みを開始します。

8 取り込みが完了すると画面の″取り込み状態″が″ライブラリに取り込み　済み″という表示に変わります。これでパソコンに保存が完了です。

9 本機をパソコンに接続します。付属のUSBケーブルを使って本機をパソコンのUSB端子に接続します。

（「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照）

10 すぐに下記の画面が表示されますので″完了″をクリックします。

11 同期ボタンをクリックします。

12 下記の画面が表示されます。先ほどパソコンに接続したメディアが右側、取り込んだ音楽が左に表示されますので、下記の通りにドラッグアンドドロップします。
（※下記はアルバムごと全部ですが、トラックごとにコピーもできます。その際はタイトルを直接ドラッグアンドドロップします。）
同期の開始ボタンをクリックすると、コピーが始まります。

本機にマイクロSDカードが挿入されている場合は“次のデバイス”という表示をクリックして同期するメモリーを選択します。

13 右下に˝リムーバブルディスク˝を切断できます。と表示されたら正常に完了です。

14 パソコンから本機を取り外します。（「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照）これで音楽を聴く準備が できました。

Windows7の場合

例）メディアプレーヤー12を使用した場合の転送方法です。

⚠ 本例は参考です。詳しい方法はご使用されているパソコンの取扱説明書に従ってください。

1 音楽CDをパソコンのCDドライブに入れて、Windows7 Media Player12を起動します。

2 取り込みの設定ボタンをクリックして取り込み画像を表示させせます。

3 取り込みの設定ボタンの右の〝▼〟をクリックします。〝形式〟をクリックして、その中の〝MP3〟を選択しチェックを入れます。

続いてビットレートを設定します。数値が高ければ高いほど高音質で取り込みが出来ますが、保存容量が大きくなります。推奨128kbpsです。

4 ″その他のオプション″を選択します。

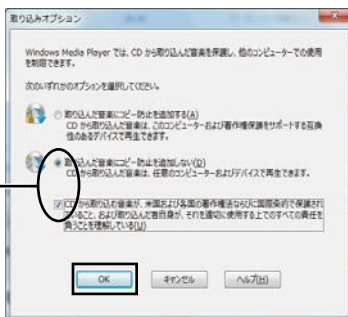
5 チェックボックスのチェックを外し、″OK″をクリックします。

チェックボックスを外す

6 録音設定が終わったら、パソコンに取り込みたい曲をチェックします。チェックを外した曲は取り込みません。

7 ″CDの取り込み″ボタンをクリックします。

8 チェックボックスにチェックをしOKをクリックすると、取り込みを開始します。

チェックボックスにチェックを入れる

9 取り込みが完了すると画面の″取り込み状態″が″ライブラリに取り込み　済み″という表示に変わります。これでパソコンに保存が完了です。

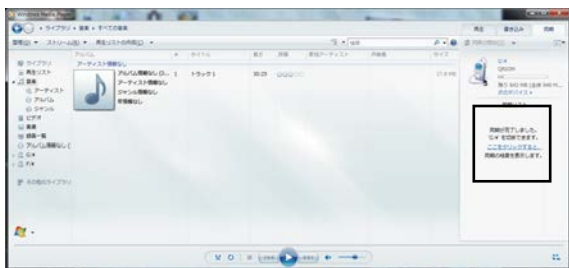
10 本機をパソコンに接続します。付属のUSBケーブルを使って本機をパソコンのUSB端子に接続します。
（「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照）

11 同期ボタンをクリックします。

12 下記の画面が表示されます。先ほどパソコンに接続したメディアが右側、取り込んだ音楽が左に表示されますので、下記の通りにドラッグアンドドロップします。
（※下記はアルバムごと全部ですが、トラックごとにコピーもできます。その際はタイトルを直接ドラッグアンドドロップします。）

同期の開始ボタンをクリックすると、コピーが始まります。

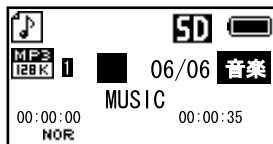
本機にマイクロSDカードが挿入されている場合は“次のデバイス”という表示をクリックして同期するメモリーを選択します。

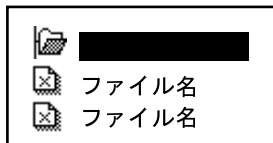
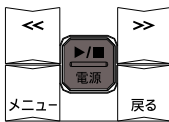
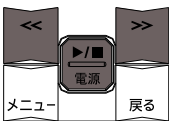
13 右下に〝リムーバブルディスク〝を切断できます。と表示されたら正常に完了です。

14 パソコンから本機を取り外します。(「P94パソコンとの接続、取り外し」を参照) これで音楽を聴く準備が できました。

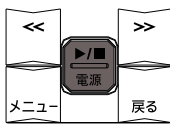
■ パソコンから取り込んだ音楽を聴く

<MUSICフォルダの選択>

1 P24 を参照してメインメニューから音楽再生モードに切り替えます。

※他のモードが表示されている場合は “ 1 再生ボタンを長押ししてください。

2 再生が停止している状態で “メニュー” ボタンを長押しして、保存先のメモリーを選択します。次に保存したファイルのある “MUSIC” フォルダを選択します。

3 “ ▶/■ 電源 ” ボタンを押すと音楽ファイルが表示されます。

4 “ << · >> ” ボタンで聴きたいファイルを選択し、“ ▶/■ 電源 ” ボタンを押して決定してください。

＜音楽を聴く＞

MUSICフォルダ選択後、“▶/■ 電源”ボタンを押すと 選択したファイルの再生を開始します。

※音楽再生の詳細な操作方法についてはラジオ録音ファイルの再生と同様の操作となりますのでP52～P61を参考にしてください。

※曲名（ファイル名）の表示について
パソコンから取り込んだ曲にはIDタグの情報が組み込まれているものがあります。
その場合、本機ではID３V1のみ表示することができます。
ID3V1は
曲名
アーティスト名
アルバム名
→を画面に表示させます。

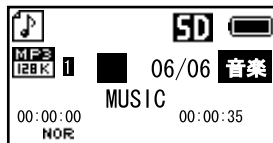
⚠注　意

ID3タグの最大文字表示数は曲名全角最大14文字、アーティスト名全角最大14文字、アルバム名全角最大14文字、それぞれ表示することができます。
文字数を超えると表示できません。
文字数を超えると表示できません。
ID3V2の情報が入っていた場合は正常に表示されませんが本製品の不具合ではございませんのでご了承ください。
※本製品は半角カナの文字を表示することができません。

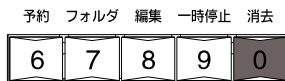
※ファイルの再生される順番について
ファイルが再生される順番は内蔵メモリー、またはSDカードに音楽ファイルをコピーした順番通りに再生されます。
本製品で録音した場合は録音した順番に再生されます。

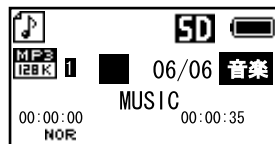
■ ファイルの削除

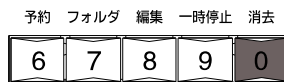
＜ファイルを1つ削除＞

1 P24 を参照してメインメニューから音楽再生モードに切り替えます。

※他のモードが表示されている場合は “ 1 再生ボタンを長押ししてください。

2 削除したいファイルを選択し、“ 0 消去” ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 画面に “ 1 消去”と点滅し、再度 “ 0 消去” ボタンを短押しすると削除されます。

4 削除をキャンセルする場合は、 “戻る” 又は “ ▶/■ 電源 ” ボタンを押してください。

<フォルダ内の全てのファイルを削除>

1 “ [1] 再生 ” ボタンを長押しすると 音楽再生 モードになります。

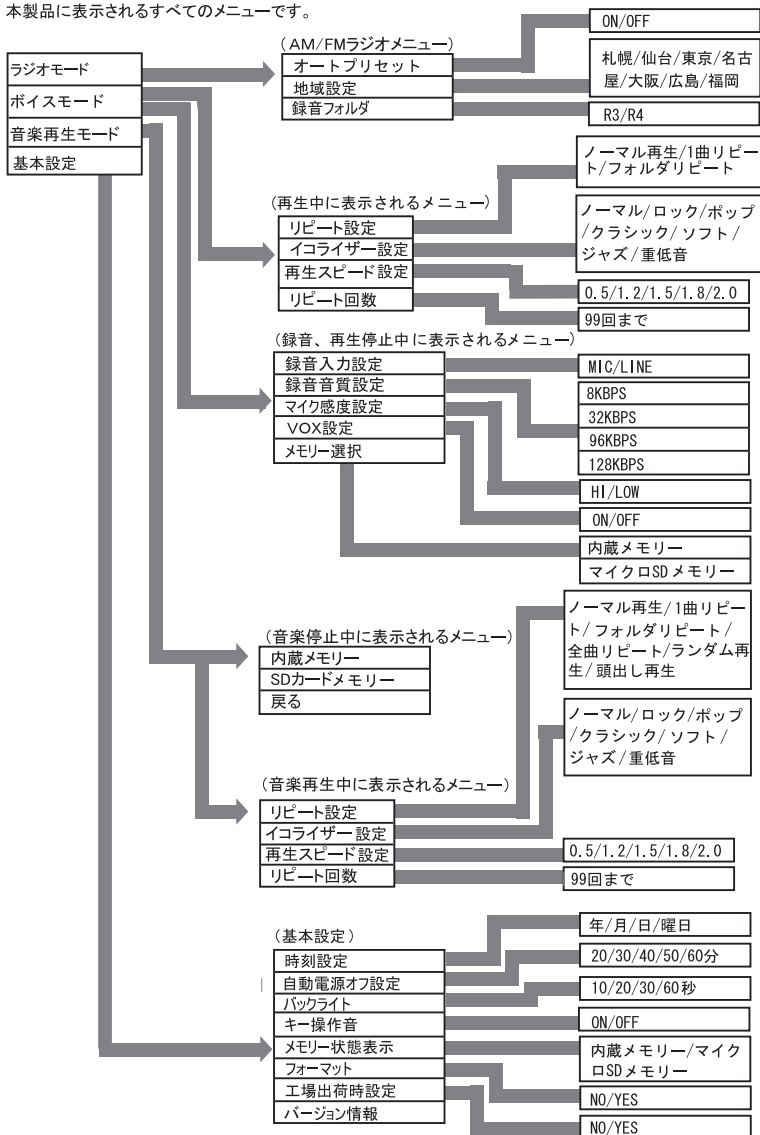
2 削除したいファイルを選択し、“ [0] 消去” ボタンを長押しすると下図の画面に切り替わります。

3 “ >> ” ボタンを押すと画面に “全削除” が表示されます。

4 再度 “ [0] 消去” ボタンを短押しするとフォルダ内のファイルがすべて削除されます。

11．付録

■ メニュー一覧表・・・・P122
■ 画面メッセージ一覧・・・・P123
■ NHK第1、2周波数一覧・・・・P124
■ 最大録音時間の目安・・・・P132

■ メニュー一覧表

本製品に表示されるすべてのメニューです。

■ 画面メッセージ一覧

<共通メッセージ>

● **お待ち下さい。**

次の動作に移動する準備を行っていますのでそのまま何も操作せずにお待ちください。

● **削除できません**

ファイルが削除できない場合に表示されます。

ファイルが壊れている時などに表示されます。

● **内蔵メモリがエラー**

内蔵メモリーが破損しています。フォーマットが必要になります。

● **メモリがいっぱい**

録音時メモリーの空き容量がありません。

● **電池残量不足**

電池の残量が無く電源が入らない状態です。

● **曲数オーバー**

ファイルの数がいっぱいになった時に表示されます。

● **フォーマットミス**

対応していない形式のファイルを再生しようとした時に表示されます。

● **ハードエラー**

本製品に不具合が発生した時に表示されます。フォーマットが必要なときに 表示 されます。

● SDカードOUT

マイクロＳＤカードを取り出した時に表示されます。

● SDカードＩＮ

マイクロＳＤカードを入れた時に表示されます。

● **内蔵データ無し**

音楽再生モードの時に内蔵メモリーにデータが入っていない場合に表示されます。

● **SDデータ無し**

音楽再生モードの時にマイクロＳＤメモリーにデータが入っていな い場合に表示

表示されます。

● 編集できません

編集モードで編集が出来ないファイルを編集しようとしたときに 表示されます。

その他編集できない場合に表示。

<予約のエラーメッセージ>

● **時刻設定エラー**

終了時刻を入力した時に開始時刻よりも前に終了時刻を設定した場合に表示され ます。予約は設定されません。

● **予約重複エラー**

予約確認で“はい”にカーソルを合せ決定ボタンをおしたとき、他の予約番号の 内容と重複している場合に表

表示されます。予約は設定されません。

● **予約設定完了**

正常に予約がセットされた場合に表示されます。

■ NHK第1、2周波数一覧

周　波　数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
北海道	札幌	567	747
	函館	675	1,467
	江差	792	1,359
	旭川	621	1,602
	名寄	837	1,125
	留萌	1,161	1,359
	稚内	927	1,467
	遠別	792	1,602
	室蘭	945	1,125
	浦河	1,341	1,602
	釧路	585	1,152
	中標津	1,341	1,539
	根室	1,584	1,359
	帯広	603	1,125
	北見	1,188	702
	新北見	1,584	
	遠軽	1.026	1,539
青森県	青森	963	1,521
	弘前	846	1,467
	八戸	999	1,377
	十和田	1,161	
	田子	1,026	
	深浦	1,584	
	野辺地	846	
岩手県	盛岡	531	1,386
	釜石	846	1,602
	宮古	1,026	1,359

周　波　数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
岩手県	大船渡	576	1,359
	久慈	1,341	1,539
	遠野	1,341	
	山田	1,323	
	岩泉	792	1,602
	田野畑	1,224	
宮城県	仙台	891	1,089
	鳴子	1,161	
	気仙沼	1,161	1,539
	志津川	981	
秋田県	秋田	1,503	774
	横手	1,341	1,602
	湯沢	1,584	
	大館	1,161	1,359
	花輪	1,341	1,521
	小坂	1,584	
	本荘	1,026	
	二ツ井	1,026	
山形県	山形	540	1,521
	新庄	1,341	1,539
	米沢	1,026	1,359
	鶴岡	1,368	1,035
	温海	1,584	
	小国	1,584	
福島県	福島	1,323	1,602
	原町	1,026	
	郡山	846	1,512
	会津若松	1,161	1,539
	いわき	1,341	1,539
	双葉	1,161	

周波数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
岡山県	久世	1,323	
	北房	1,584	
広島県	広島	1,071	702
	呉	1,026	1,521
	三次	1,584	1,035
	東城	792	1,602
	福山	999	1,602
	福山本之庄	1,161	1,467
	庄原	1,161	1,359
	府中	1,026	
	世羅	1,224	
山口県	山口	675	1,377
	萩	963	1,125
	下関	1,026	1,359
	岩国	585	
	須佐	1,368	
徳島県	徳島	945	
	池田	1,161	1,359
香川県	高松	1,368	1,035
	観音寺	1,584	
愛媛県	松山	963	1,512
	今治	792	1,476
	新居浜	846	1,035
	八幡浜	1,368	1,035
	宇和島	846	1,602
	大洲	792	1,476
	宇和	1,584	
	城辺	1,341	1,539
	野村	1,323	
高知県	高知	990	1,152

周　波　数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
富山県	富山	648	1,035
石川県	金沢	1,224	1,386
	輪島	1,584	1,359
	七尾	540	1,467
	山中	1,026	
福井県	福井	927	1,521
	敦賀	1,026	1,512
	小浜	1,161	1,359
	勝山	1,584	1,359
	三方	1,584	
岐阜県	名古屋	729	909
	中津川	1,161	1,359
	高山	792	1,125
	萩原	1,341	1,602
	白鳥	1,161	
	郡上八幡	846	1,521
	神岡	1,341	1,539
静岡県	静岡	882	639
	熱海	1,161	
	御殿場	1,026	
	浜松	576	1,521
	佐久間	1,341	
	水窪	1,584	
愛知県	名古屋	729	909
	豊橋	1,161	1,359
	新城	1,026	
三重県	名古屋	729	909
	上野	1,161	
	尾鷲	1,161	1,539
	熊野	1,368	1,602

周波数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
滋賀県	大阪	666	828
	彦根	945	
京都府	大阪	666	828
	京都	621	
	舞鶴	585	1,602
	宮津	999	
京都府	福知山	1,026	1,359
大阪府	大阪	666	828
奈良県	大阪	666	828
兵庫県	大阪	666	828
	豊岡	1,161	1,539
和歌山県	大阪	666	828
	新宮	1,026	1,359
	田辺	1,161	1,602
	古座	585	1,602
鳥取県	鳥取	1,368	1,125
	倉吉	1,026	1,359
	米子	963	1,521
島根県	松江	1,296	1,593
	益田	1,341	1,539
	浜田	1,026	1,359
	江津	1,323	
	匹見	1,584	
	津和野	999	1,359
	川本	1,368	1,602
	石見	846	1,512
	六日市	1,323	
岡山県	岡山	603	1,386
	津山	927	1,152
	新見	1,341	1,125

周　波　数			
都道府県名	放送局名	NHK第1	NHK第2
福島県	田島	1,341	1,602
	只見	1,584	1,359
	西会津	1,368	
東京都	東京	594	693
茨城県	東京	594	693
栃木県	東京	594	693
群馬県	東京	594	693
埼玉県	東京	594	693
千葉県	東京	594	693
神奈川県	東京	594	693
新潟県	新潟	837	1,593
	高田	792	1,359
	津南	1,161	1,539
	糸魚川	999	
	六日町	1,323	
	十日町	1,341	
	柏崎	981	
	小出	1,368	
山梨県	甲府	927	1,602
	富士吉田	1,584	
長野県	長野	819	1,467
	小諸	1,026	1,539
	上田	1,341	1,602
	松本	540	1,512
	飯田	621	1,476
	岡谷諏訪	1,584	1,359
	駒ヶ根	999	1,512
	木曽福島	981	1,602
	伊那	1,341	1,539

周　波　数			
都道府県名	放送局名	NHK第１	NHK第２
高知県	中村	999	1,521
	宿毛	1,026	
	大正	1,368	1,035
	須崎	1,323	
	窪川	1,341	
福岡県	北九州	540	1,602
	福岡	612	1,017
佐賀県	佐賀	963	
	伊万里	531	
	唐津	1,584	
長崎県	長崎	684	1,377
	福江	945	
	島原	1,584	
	佐世保	981	1,512
	平戸	1,341	
	諫早	927	
熊本県	熊本	756	873
	人吉	846	1,602
	水俣	1,341	
	阿蘇	1,503	
	南阿蘇	1,062	
大分県	大分	639	1,467
	佐伯	1,161	1,521
	日田	1,026	
	竹田	1,323	
	玖珠	1,341	
	中津	981	
宮崎県	宮崎	540	1,467
	延岡	621	1,602
	都城	1,161	1,359

周 波 数			
都道府県名	放送局名	NHK第１	NHK第２
宮崎県	小林	1,026	1,539
	日南	1,341	1,602
	高千穂	1,584	1,359
	串間	1,026	1,512
鹿児島県	鹿児島	576	1,386
	名瀬	792	1,602
鹿児島県	阿久根	1,026	1,467
	徳之島	1,341	1,539
	瀬戸内	1,026	
	大口	1,503	
	宇検(FM波)	81.3MHz	
	住用(FM波)	78.3MHz	
沖縄県	那覇	549	1,125
	平良	1,368	1,602
	石垣	540	1,521
	名護	531	
	祖納(FM波)	85.2MHz	83.1MHz
	与那国(FM波)	83.5MHz	80.3MHz

■ 最大録音時間の目安

内蔵メモリー（1GB）使用時の最大録音可能時間

録音音質設定値	（参考音質）	最大録音時間 （内蔵1GB）
128 KBPS	最高音質 （CD音質程度）	約17 時間
96KBPS	標準音質	約23時間
32KBPS	長時間音質	約69時間
8 KBPS	最長時間音質	約272 時間

※上記の時間は、電池持続時間ではございませんのでご注意ください。

また、数値はあくまで目安であり、保証するものではありません。

12. データの取り扱いに関する注意

■ パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意 してください。当社、および本製品の 製造元・流通元・販売元は、本製品 が上記のような違反行為に使用された 場合、いっさいの責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)および 第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

13. 著作権について

■ 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者 の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

14．故障かな・・？と思ったら

故障かな‥？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

電　源

■ 電源が入らない。

・電池残量が少ない。
　▶新しい電池に交換してください。

・電池の＋、－が逆。
　▶正しく電池を入れ直してください。

・ホールドになっている。
　▶ホールドスイッチをオフにしてください。

・動作がおかしい。
　▶電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

イヤホン

■ 音声がイヤホンから聞こえない。

・イヤホンがきちんと奥まで差さっていない。
　▶イヤホンの端子を持って奥まできちんと差し込んでください。

・イヤホンをマイク端子に差している。
　▶イヤホンはイヤホン端子に差し込んでください。

・音量が小さい。
　▶音量を大きくしてください。

録音・再生

■ 録音がうまくできない。

・ホールドになっている。

▶ホールドスイッチをオフにしてください。

・録音時間、録音件数がいっぱいになっている。

▶いくつかのファイルを削除してください。

▶パソコンと本機を接続し、内蔵メモリのデータをパソコンに移動してください。

■ 再生がうまくできない。

・ホールドになっている。

▶ホールドスイッチをオフにしてください。

・電池残量が少ない。

▶新しい電池に交換してください。

FMラジオ

■ FMラジオの音がよく聞こえない。

・イヤホンが差さっていない。

▶イヤホンはアンテナの替わりになるので、イヤホン端子又はマイク端子に奥まできちんと差し込んでください。

・イヤホンのコードを小さくたたんでいる。

▶イヤホンのコードは出来るだけ伸ばしてください。

AMラジオ

■ AMラジオの音がよく聞こえない。

・アンテナの向き

▶本体を色々な向きに変えてみてください。

・聞く場所

▶出来るだけ窓際で聞いてください。

15．製品仕様

項目			
型　番	YVR-R301		
内蔵メモリー	1GB※1		
外部メモリー	マイクロSDスロット※2		
LCD	１２８×64　ドット　モノクロ		
再生形式	MP3	32～320Kbps	
		VBR	対応32～320Kbps
		ID３タグ	ID3 V1
録音形式	MP3	8Kbps	300Hz-3Kz
		32Kbps	100Hz-5KHz
		96Kbps	100Hz-10KHz
		128Kbps	100Hz-13KHz
FMチューナー	対応周波数	76MHz～90MHz	
	S/N比	45dB	
AMチューナー	対応周波数	522KHz～1629KHz	
	S/N比	35dB	
出力端子	イヤホン端子(ステレオ)φ3.5mm ステレオミニジャック		
入力端子	外部マイク端子（ステレオ）φ3.5mm ステレオミニジャック		
外部インターフェース	USB端子	USB2.0	
	I/Oポート※3		
表示言語	日本語 、英語		
フォルダ/ファイル/フォルダ階層	最大９９９フォルダ/９９９ファイル/８階層※4		
オーディオ	S/N比	60dB	
	周波数特性	100Hz-20KHz	
	イヤホン出力	音楽ファイル再生時	3mW+3mW
		録音ファイル再生時	0.5mW+0.5mW
	スピーカー出力	最大50mW	
対応OS	Windows XP/VISTA/7、Mac OS X(Version 10.2.6)以上		
電　源	単３形アルカリ乾電池×1、又は 単3形ニッケル水素充電池×1 ※5 ACアダプター　5V　200mA (別売・市販品)		

項目			
連続再生電池持続時間	内蔵メモリー	約50時間 ※6	
	マイクロSDメモリー	約30時間 ※6	
連続録音電池持続時間	音声録音	内蔵メモリー	約27時間 ※7
		マイクロSDメモリー	約27時間 ※7
	ラジオ録音(AM)	内蔵メモリー	約20時間 ※7
		マイクロSDメモリー	約10時間 ※7
最大録音時間	8KBPS ：約 272 時間 、32KBPS ：約 69 時間 96KBPS：約 23時間 、128KBPS：約 17 時間		
最大周波数範囲	100Hz～ 13KHz		
外形寸法	W121.5×H42.6×D15mm		
重量	60.6ｇ (本体のみ)		
その他 機能など	予約件数最大２０件 (ラジオ予約：最大20件、ボイス予約：最大5件)		
	ラジオプリセット登録２０件、登録済み放送局：7都市125局		
	内蔵スピーカー		
	内蔵マイク(マイク感度設定機能あり)		
	録音用フォルダ数4(ボイス用４、※ラジオ録音用２含む)		
	各フォルダ最大９９ファイル　合計３９６ファイル保存可能		
	時計機能、リピート機能、VOX機能、編集機能		

※1　内蔵メモリーはシステム領域として使用する部分があるため、実際の1GBよりも少なくなります。

※2　・マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音するの際は別売・市販品のACアダプターをご使用ください。
・単３形アルカリ乾電池はご使用いただけますが、電池の消耗は内蔵メモリー録音時に比べて早くなります。
・単3形ニッケル水素充電池はマイクロSD、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用になれない場合があります。
・本製品にはマイクロSD又はマイクロSDHCカードは付属しておりません。お近くの電気店等で市販品をお買い求めください。

※3　将来用I/Oポート。現在はご使用になれなせんのでご注意ください。

※4　最大フォルダ数にはボイスレコーダー及びラジオ録音用、計4フォルダを含む。

※5　本製品には単3形ニッケル水素充電池は付属しておりません。お近くの電気店等で市販品をお買い求めください。
本製品には充電池機能はありません。お買い求め頂いた単3形ニッケル水素充電池に適合した市販の充電器をご使用ください。

※6　内蔵メモリー、単3形アルカリ乾電池、スピーカー音量 約1/2、バックライトOFFでの使用時

※7　内蔵メモリー、単3形アルカリ乾電池、録音モニターOFF、バックライトOFFでの使用時

◆電圧の低い乾電池をご使用時、正常に動作しない場合があります。
◆日本メーカーの乾電池をご使用ください。
◆電池持続時間は使用電池、使用環境、使用条件により大きくかわります。
◆電池持続時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
◆電池持続時間は当社試験方法により測定したものです。
◆内蔵スピーカーはモノラルです。

16． 免責事項

●本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
●本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
● 株式会社山善 の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
●一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
●本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
●本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
●本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
● 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはQriomサポートセンターにご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
③本製品のために費やした時間、経費
④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常 また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。
※本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

17. お手入れの仕方

＜本体の清掃＞

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お　願　い

- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。

- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。

はじめに
基本的な使い方
ラジオを聴く
ラジオの予約録音
ボイスレコーダー（音声を録音・再生する）
録音した内容編集する
パソコンで聞いたり、保存したりするには
音楽を聴く

18. アフターサービスについて

■ この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

■ 保証期間はお買い上げ日より1年間です。 詳細は保証書をご覧ください。

■ アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店か キュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：ナビダイヤル 0570-00-9106

受付時間：月～金 午前１０時～午後５時30分
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話では　ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com
ホームページ：http://www. qriom.com

19. 個人情報保護のお取り扱いについて

株式会社　山善 及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

Qriom AM/FMラジオレコーダー

保証書 持込修理

形　名	YVR-R301	
無料修理保証期間	本　体	お買い上げ年月日　　年　　月　　日より一年間
お客様	ご芳名 ご住所	様 ☎ 〒
販売店	店　名 住　所	☎ ㊞

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束したものです。
上記「無料修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。
●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。なお修理に代えて、製品本体交換又は代替品交換とさせて頂く場合がありますので、ご了承下さい。メモリー等、記憶素子を搭載した製品の場合、お客様が記録されたデータは、修理又は製品本体交換によって残りませんので、あらかじめバックアップをお取り頂くようお願い致します。
2. ご転居、贈答品等で修理依頼ができない場合には、キュリオムサポートセンターへご相談下さい。[キュリオムサポートセンター:0570-00-9106　受付時間:月～金午前10時～午後5時30分(土・日・祝祭日・年末年始を除く)　※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合があります。]
3. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
　(イ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
　(ロ)お買上げ後の転倒、輸送、落下等による故障及び損傷。
　(ハ)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
　(ニ)一般家庭以外(業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の損傷。
　(ホ)本書のご提示がない場合。
　(ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせ下さい。
※本保証書に記載された個人情報は本機の保証・サービスを目的としており、それ以外の目的で使用することはありません。

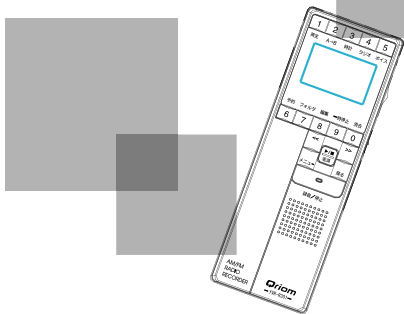
東京.関東.大阪.名古屋.九州.東北

〒216-8505 川崎市宮前区宮崎156

V2-100416W

Qriom

AM/FMラジオレコーダー

YVR-R301 基本操作早見表

この基本操作早見表では、本製品をお楽しみいただくための最も基本的な操作を簡単に説明しています。取扱説明書の参照ページを記載しておりますので、さらに詳細な使い方や注意事項に関しましては本製品取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

このクイックマニュアルと本製品取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

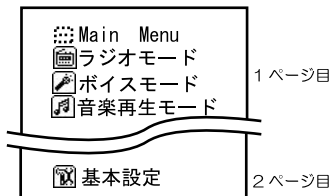
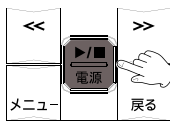
1 電源の入れ方、切り方、メインメニュー表示

→ 詳しくは取扱説明書24ページ参照

■ 電源の入れ方

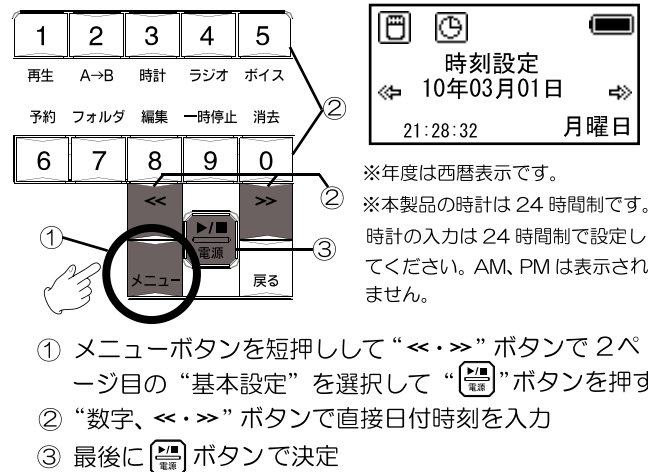
電池を入れて、再生/停止・電源ボタンを長押し(約2秒以上押す)すると、電源が入ります。電源が入るとメインメニューが表示されます。

■ 電源の切り方

再生/停止・電源ボタンを長押し(約2秒 以上押す)すると、電源を切ることができます。※電源がオフになる直前に予約録音がセットされていると画面下に現在時刻から一番近い予約開始時刻が表示されます。

2 日付、時計を設定する

→ 詳しくは取扱説明書28ページ参照

電源を入れ、カーソル"≫"ボタンを押してメインメニュー2ページ目の"基本設定"を選択し、決定ボタン(電源)を押すと時刻設定の画面が表示されますので、数字ボタン"0～9"を押して直接入力してください。"≪・≫"ボタンを押して設定箇所を移動できます。 入力が終了したら、"電源"ボタンを押して決定してください。"メニュー"ボタンを短押しするとメインメニューに戻ります。
※P30 参照

※年度は西暦表示です。
※本製品の時計は 24 時間制です。時計の入力は 24 時間制で設定してください。AM、PM は表示されません。

① メニューボタンを短押しして"≪・≫"ボタンで2ページ目の"基本設定"を選択して"電源"ボタンを押す。
② "数字、≪・≫"ボタンで直接日付時刻を入力
③ 最後に電源ボタンで決定

3 AMとFMを切り替えるには

→ 詳しくは取扱説明書29ページ参照

1 メインメニューから"ラジオモード"を"≪・≫"ボタンで選択して"電源"ボタンを押してください。また、他のモードが表示されている場合、"4ラジオ"ボタンを長押しするとラジオモードへ切り替わります。

再生　A→B　時計　ラジオ　ボイス

2 "4ラジオ"ボタンを長押しする度に AM→FM→AM・・・・と切り替わります。

4 ラジオをよりよく聴くためのコツ

→ 詳しくは取扱説明書35ページ参照

本機でラジオのを受信する場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。

テレビやパソコンなどの家電製品の近くは、ノイズの影響を受けやすく電波を受信しにくいため、本機のご使用は避けてください。

お客様のご家庭にある壁付けのアンテナ端子に本ケーブルを接続する際、壁付けのアンテナ端子の種類によっては本ケーブルを接続することができない場合や、本ケーブルが短くて届かない場合、壁付けのアンテナ端子が1つしかなく接続が困難な場合があります。その際は、お客様の壁付けのアンテナ端子に合った、別売・市販品のF型アンテナケーブルとF型中継コネクターをお近くの電気店等でお買い求めいただき、本ケーブルと接続してください。(下記の接続例を参考)

<接続が困難な場合の接続例>

5 使用できるマイクロSD、マイクロSDHCカードについて

→ 詳しくは取扱説明書20ページ参照

本機では micro SDHC™ カード、microSD™ カードが使用できます。(別売り・市販品)
※マイクロSDカード最大2GB、マイクロSDHCカード最大16GBまで対応可能です。
マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。
当社基準において動作確認済みのmicroSDカードは以下の通りです。その他のmicroSDカードの動作確認については、各microSDカードの販売元へ問い合わせください。

microSDカードメーカー	容量(最大)
SanDisk	16GB

・マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音するの際は別売・市販品の AC アダプターの使用をおすすめ致します。
・単3形アルカリ乾電池はご使用いただけますが、電池の消耗は内蔵メモリー録音時に比べて早くなります。
単3形ニッケル水素充電池はマイクロSD、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用になれない場合があります。
・本製品にはマイクロSD又はマイクロSDHCカードは付属しておりません。お近くの電気店等で市販品をお買い求めください。

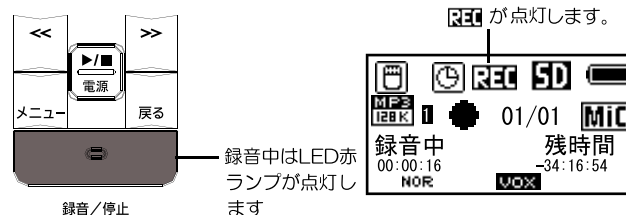
microSD microSDHC SDロゴはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

6 音声を録音、再生する

→ 詳しくは取扱説明書 74、79 ページ参照

<録音する>

1 メインメニューから"ボイスモード"を選択する、又は"5ボイス"ボタンを長押ししてボイスレコーダーモードに切り替えます。

2 "録音/停止"ボタンを短押しすると、録音を開始します。

3 録音中に録音停止ボタンをもう一度短押しすると録音を停止し、ファイルを保存します。

<再生・停止する>

1 "≪・≫"又は数字ボタンでファイル選択後、"電源"ボタンを短押しすると、再生を開始します。

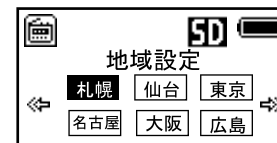
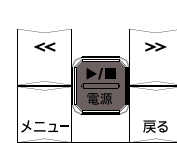
※"フォルダ"ボタンを長押しでフォルダが切り替わります。

2 再生中に"電源"ボタンを短押しすると再生を停止します。再度、"電源"ボタンを短押しすると、先程、停止した途中から再生を開始します。

7 ラジオを聴く(放送局の登録)

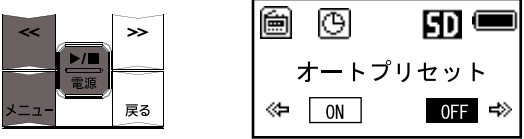
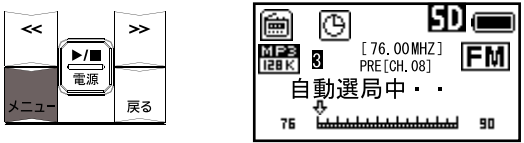
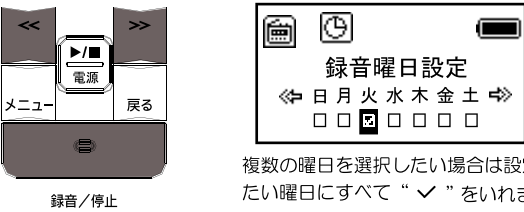
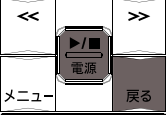
→ 詳しくは取扱説明書37、45ページ参照

<地域を選択して放送局を登録する>

1 ラジオモード画面から"メニュー"ボタンを長押しするとオートプリセット画面が表示されます。"電源"ボタンを押すと地域設定画面に切り替わります。

2 "≪・≫"ボタンで地域を選択し、"電源"ボタンで決定します。"録音フォルダ"画面が表示されますので、"メニュー"ボタンを押します。又は再度"電源"ボタンを押して"設定を終了します"画面で"はい"を選択して"電源"ボタンを押すと元のラジオ画面に戻ります。

3 選択した地域のAM/FM放送局がプリセットに登録されます。放送局の選択は数字ボタンでプリセット番号(CH)を直接入力するか、又は"≪・≫"ボタンを押します。

<オートプリセットを使用して 放送局を登録する>

1 ラジオモード画面から“メニュー”ボタンを長押しするとオートプリセット画面が表示されます。“≪”ボタンで“ON”を選択して“▶/■”ボタンを押すと“録音フォルダ”画面が表示されますので“メニュー”ボタン を押します。又は再度“▶/■”ボタンを押して“設定を終了します”画面で“はい”を選択して“▶/■”ボタンを押します。

2 自動的にオートスキャンを開始し、受信可能な放送局が 本体に登録されます。放送局の選択は数字ボタンでプリセット番号(CH)を直接入力するか､又は“≪・≫”ボタンを押します。

※放送局を手動で選局することもできます。取扱説明書P47参照

8 ラジオの予約録音を開始する

→ 詳しくは取扱説明書65ページ参照

本製品には、録音開始時刻、録音終了時刻などの条件を指定してラジオやボイスの予約 録音することができます。

※ここでは例としてAM1431KHZの放送局を予約設定します。

<予約録音したいラジオ放送局を予め表示させる>

P48～を参考にして予め予約したい放送局を画面に表示します。

ここでは手動選局なので、数字ボタンで“1”“4”“3”“1”と入力し､“▶/■”で決定します。

※ここで表示させた放送局が予約の周波数に自動的に設定されます。

<予約モードへの切り替え>

1 メインメニューから“ラジオモード”を“≪・≫”ボタンで選択して“▶/■”ボタンを押してください。また、他のモードが表示されている場合､“4 ラジオ”ボタンを長押しするとラジオモードへ 切り替わります。

2 “6 予約”ボタンを長押しすると 画面が切り替わり､予約設定を開始します。

予約設定の一例

予約番号：3
繰返し設定：火曜日を毎週繰返し
ラジオ放送局：AM1431KHZ
録音開始時刻：18：30
録音終了時刻：18：45

<予約番号の設定>

例として予約番号“3”を設定します。

1 予約モードに切り替わると下図のように予約番号設定画面が 表示されます。“≪・≫”ボタンで“予約3”を選択します。

※予約がセットされるとこのアイコンが“3ON”に変わります。

※ボイスレコーダーの予約は“予約1”～“予約5”のみの設定となりますのでご注意ください。

2 “▶/■”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<タイマー設定>

1 タイマー 設定画面が表示されている状態で“≪・≫”ボタンで“ON”に設定します。

※OFFにした場合、時刻等を設定しても予約した内容は実施されませんので、ご注意ください。

2 “▶/■”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<繰返し予約の設定>

例として“曜日”を選択する場合

1 繰返し設定画面が表示されている状態で“≪・≫”ボタンで“曜日”を選択します。

1回　：1回のみ予約録音を実施します。
毎日　：予約した内容を毎日実施します。
曜日　：指定した曜日のみ繰返し予約を実行します。

2 “▶/■”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<繰り返したい曜日の設定>

前項の繰り返し予約の設定で“曜日”を選択した場合

1 例として“火曜日”を設定する場合､設定 画面が表示されている状態で“≪・≫”ボタンで“火曜日”を選択し、“録音/停止”ボタンを押して“✓”を入れます。

複数の曜日を選択したい場合は設定したい曜日にすべて“✓”をいれます。

2 “▶/■”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<録音入力設定>

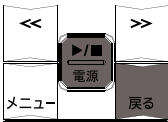
1 録音入力設定 画面が表示されますので予め呼び出した放送局を変更しない場合はそのままの状態（例では“AM”）で次に進みます。変更する場合は“≪・≫”ボタンで“FM”又は“MIC”を選択します。

※“MIC”を選択した場合はボイスレコーダーモードで予約録音を設定します。（音声録音）

AM：AMラジオ
FM：FMラジオ
MIC：ボイスレコーダー

※ボイスレコーダーを選択した場合、この後の周波数設定は必要がありません。

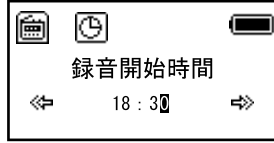
※マイク端子にラインケーブルを接続していた場合は端子に接続した音源を録音します。マイクからは録音されませんので、ご注意ください。（ボイスレコーダーモードの録音入力設定を事前に“LINE”に設定しておいてください。

2 “▶/■”ボタンで決定すると次の項目に進みます。前の項目に戻りたい時は“戻る”ボタンを押します。

<放送局（周波数）の設定>

周波数設定 画面が表示されますので予め呼び出した放送局を変更しない場合はそのままの状態(例では1431KHZ)で“▶/■”ボタンを押します。変更する場合は、数字ボタンで直接周波数を入力し､“▶/■”ボタン を押します。

<予約の開始時間の設定>

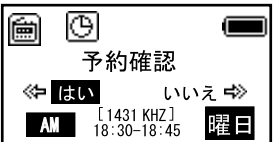
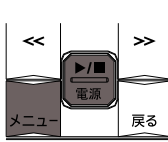
例として“18:30”を設定する場合

録音開始時間 画面が表示されている状態で 数字ボタン“1”“8”“3”“0”と入力し､“▶/■”ボタン を押します。

<予約の終了時間の設定>

例として“18:45”を設定する場合

録音終了時間 画面が表示されている状態で 数字ボタン“1”“8”“4”“5”と入力し､“▶/■”ボタン を押します。

<予約の最終確認>

特に変更がない場合は“はい”を選択し､“▶/■”ボタンを押します。これで予約の設定は完了です｡“いいえ”を選択した場合、予約はキャンセルされます。

※予約設定の途中で“メニュー”ボタンを押すと予約はセットされず元のラジオモード画面に戻ります。

※予約の最終確認中に内容を 変更したい場合は“戻る”ボタンを押して変更したい項目まで戻ってください。

<予約モード終了確認>

次に下図のように画面が表示されますので続けて予約したい場合は“いいえ”を選択し“▶/■”ボタンを押してください｡(P66“予約番号の設定”画面に戻ります）予約モードを終了する場合は“はい”を選択して“▶/■”ボタンを押してください。元のラジオモード画面に戻ります。